



Intel Unite[®] ソリューション

バージョン 4.0

ユーザーガイド

第 1.1 版



法的免責事項および著作権

ここに記載されているすべての情報は、予告なく変更されることがあります。インテルの最新の製品仕様およびロードマップをご希望の方は、インテルの担当者までお問い合わせください。

インテル® テクノロジーの機能と利点はシステム構成によって異なり、対応するハードウェアやソフトウェア、またはサービスの有効化が必要となる場合があります。実際の性能はシステム構成によって異なります。絶対的なセキュリティを提供できるコンピューター・システムはありません。詳細については、各システムメーカーまたは販売店にお問い合わせいただくか、<http://www.intel.co.jp/> を参照してください。

本資料に記載されているインテル製品に関する侵害行為または法的調査に関連して、本資料を使用または使用を促すことはできません。本資料を使用することにより、お客様は、インテルに対し、本資料で開示された内容を含む特許クレームで、その後で作成したもののについて、非独占的かつロイヤルティー無料の実施権を許諾することに同意することになります。

本資料は、(明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず) いかなる知的財産権のライセンスも許諾するものではありません。

本資料で説明されている製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

インテルは、明示されているか否かにかかわらず、いかなる保証もいたしません。ここにいう保証には、商品適格性、特定目的への適合性、および非侵害性の黙示の保証、ならびに履行の過程、取引の過程、または取引での使用から生じるあらゆる保証を含みますが、これらに限定されるわけではありません。

インテルは、本資料で参照しているサードパーティーのベンチマーク・データまたはウェブサイトについて管理や監査を行っていません。本資料で参照しているウェブサイトアクセスし、本資料で参照しているデータが正確かどうかを確認してください。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Unite、Intel Core、Intel vPro は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

© 2018 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。

目次

1	はじめに.....	7
1.1	対象.....	7
1.2	Intel Unite® ソリューションの用語と定義.....	7
1.3	クライアントの要件.....	7
2	クライアント・アプリケーションの起動.....	9
2.1	Windows*.....	9
2.2	Mac*.....	9
2.3	Linux*.....	9
2.4	Chrome* OS.....	9
2.5	iOS*.....	9
2.6	Android*.....	9
3	クライアントの登録.....	10
4	ハブへの接続.....	11
4.1	クライアントに PIN を入力する.....	11
4.2	Outlook* の会議機能を使ってリンクする (Windows* のみ).....	11
4.3	会議スケジュール機能の使用.....	11
4.4	アプリを使う.....	11
5	クライアントのユーザー・インターフェイス (UI) の概要.....	12
5.1	ハブ接続前のクライアントの UI.....	12
5.2	ハブ接続後のクライアントの UI.....	13
5.3	参加者ページ.....	14
5.4	プレゼンテーション・オプション - 画面.....	15
5.5	プレゼンテーション・オプション - アプリケーション.....	16
5.6	プレゼンテーション中.....	17
5.7	表示.....	18
5.8	クライアント設定.....	19
5.8.1	Windows* クライアント設定.....	19
5.8.1.1	クライアント設定 - プロファイル.....	19
5.8.1.2	(Windows*) クライアント設定 - 構成.....	20
5.8.2	Windows* 以外のクライアント設定.....	21
5.8.2.1	クライアント設定 - プロファイル.....	21
5.8.2.2	クライアント設定 - 構成.....	22
5.8.2.3	クライアント設定 - レガシー.....	23
5.9	Android* クライアントの UI.....	25
5.9.1	PIN 入力画面.....	25
5.9.2	ハブに接続.....	25
5.9.3	メニュー.....	26
5.9.4	プレゼンテーション中.....	26
5.9.5	アプリ.....	27
5.9.6	参加者.....	27
5.9.7	[設定] - [プロファイル].....	28
5.9.8	[設定] - [構成].....	28
5.9.9	[設定] - [レガシー].....	29
5.9.10	表示.....	29



5.9.11	書き込み	30
5.10	ランドスケープおよびポートレート・モードのサポート	30
6	クライアント設定	31
7	クライアント機能	33
7.1	クライアント機能リスト	33
7.1.1	プレゼンテーション機能表	33
7.1.2	表示機能表	33
7.1.3	コラボレーション機能表	33
7.1.4	セッション管理機能表	34
7.1.5	アプリ機能表	34
7.1.6	その他の機能表	34
7.2	プレゼンテーション機能	34
7.2.1	画面のプレゼンテーション	34
7.2.2	アプリケーションのプレゼンテーション	35
7.2.3	物理的な拡張ディスプレイのプレゼンテーション	35
7.2.4	仮想拡張ディスプレイのプレゼンテーション	36
7.2.5	プレゼンテーション枠の表示	36
7.2.6	プレゼンテーションの引継ぎ	36
7.2.7	オーディオ付きビデオ再生のサポート	37
7.3	表示機能	37
7.3.1	表示ウィンドウのポップアウト	37
7.3.2	プレゼンテーションの表示	37
7.4	コラボレーション機能	38
7.4.1	書き込み	38
7.4.2	ファイルの共有	39
7.5	セッション管理機能	39
7.5.1	接続状態インジケータ	39
7.5.2	ハブからの切断	39
7.5.2.1	自動切断	40
7.5.3	ほかのユーザーの切断	40
7.5.4	会議やセッションの終了	40
7.5.5	デバイスからのホスト	40
7.5.6	会議のロック	40
7.5.7	モデレートセッション	41
7.5.7.1	自己昇格モードの使用	41
7.5.7.2	厳密モードの使用	42
7.5.7.3	セッションの権限の設定	42
7.5.8	会議のスケジュール	42
7.6	アプリと機能	42
7.6.1	Intel Unite® ソリューション・アプリの実行	43
7.7	その他	43
7.7.1	自動更新	43
7.7.2	フル・アクセシビリティ	43
7.7.3	リアルタイムのプロファイル更新	43
8	ハブのUIの概要	44
8.1	ハブのメイン画面	44
8.2	ハブのアプリ画面	45
8.3	ハブの参加者画面	46
8.4	ハブ表示コントロール・パネル	47



9	ハブ機能.....	48
9.1	ハブ機能リスト.....	48
9.1.1	書き込み.....	48
9.1.2	アプリの表示と実行.....	48
9.1.3	接続しているクライアントの表示.....	48
9.1.4	セッションの終了.....	49
9.1.5	ハブによるプレゼンテーション.....	49
9.1.6	セッションのロックとロック解除.....	49
9.1.7	引継ぎ.....	49
9.1.8	画面コントロール.....	49
	付録 A : Intel Unite® ソリューション向け Microsoft* Outlook* アドイン.....	50
	付録 B : クライアント・ショートカット・キー.....	51

図表目次

図 1.Outlook* 会議	11
図 2. ハブのログイン画面	12
図 3. クライアントの接続画面	13
図 4. クライアントの参加者画面	14
図 5. クライアントのプレゼンテーション画面	15
図 6. クライアントのアプリケーション・プレゼンテーション画面	16
図 7. クライアントのプレゼンテーション画面	17
図 8. クライアントの表示画面	18
図 9.Windows* クライアント設定のプロファイル画面	19
図 10.Windows* クライアント設定の構成画面	20
図 11.Windows* 以外のクライアント設定のプロファイル画面の例 (以下は Mac* OS)	21
図 12.Windows* 以外のクライアント設定の構成画面の例 (以下は Mac* OS)	22
図 13.Windows* 以外のクライアント設定のレガシー画面の例 (以下は Mac* OS)	23
図 14.Android* クライアントの PIN 入力画面	25
図 15.Android* クライアントの接続画面	25
図 16.Android* クライアントのメニュー	26
図 17.Android* クライアントのプレゼンテーション画面	26
図 18.Android* クライアントのアプリ画面	27
図 19.Android* クライアントの参加者画面	27
図 20.Android* クライアント設定のプロファイル画面	28
図 21.Android* クライアント設定の構成画面	28
図 22.Android* クライアント設定のレガシー画面	29
図 23.Android* クライアントの表示画面	29
図 24.Android* クライアントの書き込み画面	30
図 25. プレゼンテーション・ツールバー	35
図 26. 書き込みコントロール	35
図 27. ハブのメイン画面	44
図 28. ハブのアプリ画面	45
図 29. ハブの参加者画面	46
図 30. ハブ表示コントロール・パネル	47
図 31.Outlook* 会議	50

1 はじめに

Intel Unite® アプリケーションは、会議室、教室、職員室、その他コラボレーションのための部屋をスマートに使えるよう設計された使いやすいソリューションです。新規または既存のディスプレイ、プロジェクターやインタラクティブ・ホワイトボードに直ちに接続可能なワイヤレス・テクノロジーで、素早く会議やセッションを始められます。ケーブル接続は不要です。Intel Unite® アプリケーションのユーザーは、部屋にいても離れた場所においても、コンテンツをリアルタイムで共有したり編集したりすることができます。

このソリューションでは、次の3つのステップで画面を高速にワイヤレスで共有して、コラボレーションを行うことができます。

1. Intel Unite® アプリケーションを起動するか、会議招集から参加します。
2. PIN を入力して特定のセッションに接続します。
3. [**プレゼンテーション**] をクリックしてコンテンツを共有するか、プレゼンターをクリックしてほかの人がプレゼンテーションを行っているものを表示します。

1.1 対象

このガイドは、ユーザーが Intel Unite® アプリケーションとその機能を理解し、使用できるようになることを目的としています。本書では、次の内容について説明しています。

- Intel Unite® アプリケーションの起動と接続
- Intel Unite® クライアント・アプリケーションの機能の説明
- Intel Unite® ハブ・アプリケーションの機能の説明

このガイドは、ソリューション全体のインストールと展開については扱いません。本ソリューションをインストールして展開する方法については、「*Intel Unite® ソリューション 4.0 エンタープライズ導入ガイド*」を参照してください。

1.2 Intel Unite® ソリューションの用語と定義

エンタープライズ・サーバー (サーバー) – サーバー上で実行される PIN サービスです。PIN の割り当てと解決、ハブやクライアント・デバイスへの構成、機能・アプリのダウンロードを行い、管理者ポータルをホストします。サーバーのセットアップと設定はこのガイドの対象外です (導入ガイドを参照してください)。

ハブ – Intel Unite® アプリケーションを実行する、インテル® vPro™ テクノロジー搭載の小型フォームファクター PC です。会議室、教室、同僚とのコラボレーションのための部屋にあるインタラクティブ・フラットパネル・ディスプレイまたはプロジェクターと接続します。

クライアント – ハブに接続するデバイスです。サポート対象のデバイスは、Windows*、Mac* OS、Linux*、Chrome* OS (Chromebook*)、iOS* (iPad* と iPhone*)、および Android* (タブレットやスマートフォン) などです。

1.3 クライアントの要件

オペレーティング・システムに応じて、クライアント・デバイスが次の要件を満たしていることを確認してください。

- Microsoft* Windows* 7 SP1、8.1、または 10 (32 ビットおよび 64 ビット) **注** : 画面コントロールは Windows* 10 のみです。
 - 推奨される最新のパッチレベル
 - Microsoft* .NET* 4.6.1 以降
- Mac* OS 10.12、10.13、または 10.14
- iOS* 11 または 12



- Android* バージョン 6 (Marshmallow)、バージョン 7 (Nougat)、またはバージョン 8 (Oreo)
- Chrome* OS 最新バージョン
- Linux* Fedora* 27 または 28、Red Hat* Enterprise 7、Ubuntu* 16 LTS または 18 Non-LTS
- 有線またはワイヤレス・ネットワーク接続

2 クライアント・アプリケーションの起動

Intel Unite® ソリューションは、Windows*、Mac*、Linux*、Chrome* OS、iOS*、および Android* プラットフォーム上で実行されているクライアントをサポートします。クライアント・アプリケーションを起動する手順は、プラットフォームごとに異なります。

2.1 Windows*

Windows* プラットフォームで Intel Unite® クライアント・アプリケーションを起動するには、デスクトップ上の Intel Unite® クライアント・アイコンをダブルクリックします。

2.2 Mac*

Mac* プラットフォームで Intel Unite® クライアント・アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

1. [移動] メニューを表示し、[アプリケーション] を選択します。
2. Intel Unite® アプリケーション項目をダブルクリックします。

2.3 Linux*

Linux* プラットフォームで Intel Unite® クライアント・アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

1. ターミナルを開きます。
2. ディレクトリーを `/opt/intel/unite` に変更します。
3. `./intel-unite-client` と入力します。
4. **Enter** キーを押します。

2.4 Chrome* OS

Chrome* OS プラットフォームで Intel Unite® クライアント・アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

1. 左下にあるランチャーアイコン (円) をクリックします。
2. 検索ボックスに **Unite** と入力します。
3. Intel Unite® クライアント・アイコンをクリックします。

2.5 iOS*

iOS* プラットフォームで Intel Unite® クライアント・アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

1. Intel Unite® クライアント・アイコンを見つけます。
2. アイコンをタップします。

2.6 Android*

Android* プラットフォームで Intel Unite® クライアント・アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

1. ホーム画面にある Intel Unite® クライアント・アイコンを見つけます。
2. アイコンをタップします。

3 クライアントの登録

クライアントは、使用する前に、管理者ポータルに登録する必要があります。クライアントの登録に関する情報については、「*Intel Unite®* ソリューション 4.0 エンタープライズ導入ガイド」を参照するか、または IT 管理者にお問い合わせください。

4 ハブへの接続

クライアントの登録プロセスが完了すると、ハブへ接続できるようになります。このセクションでは、クライアントをハブに接続する方法を説明します。

4.1 クライアントに PIN を入力する

ハブに接続し、セッションに参加するには、Intel Unite® クライアント・アプリケーションを起動し、ハブ画面に表示されている 6 桁の PIN を入力します。

4.2 Outlook* の会議機能を使ってリンクする (Windows* のみ)

会議やセッションに参加するためのリンクが記載されている会議への招待を受け取った場合、[Intel Unite® に参加] をクリックします。Intel Unite® ソリューションが有効化された会議室に最初に参加したユーザーは、ハブに表示されている PIN を入力します。それ以外の場合は、セッションに自動的に参加できます (スケジュールされた会議の詳細については、セクション 8.5.8 「会議のスケジュール」を参照してください。Outlook* アドインのインストールについては、付録 A を参照してください)。

図 1.Outlook* 会議



4.3 会議スケジュール機能の使用

会議スケジュール機能の使用方法は、以下のとおりです。

1. 会議のホストに連絡し、管理者ポータルでの会議スケジュール機能から URL を取得します。
2. ウェブブラウザまたはコマンドの実行ウィンドウを開きます。
3. ブラウザーのアドレスバーまたはコマンドの実行テキストボックスに URL を入力します。
4. **Enter** キーまたは **Return** キーをクリックし、クライアント・アプリケーションを起動します。

注：Linux*、Android*、Chrome* OS の場合は、PIN 入力画面の [スケジュールされたセッションの URL で接続] リンクを使用します。

4.4 アプリを使う

Ultrasonic Join 用 Intel Unite® プラグインなど、クライアントをハブに接続するプロセスを簡単に行えるアプリがあります。このアプリは、[Intel Unite® App Showcase website](#) (英語) からダウンロードできます。詳細については、「Ultrasonic Join 用 Intel Unite® プラグイン・ユーザーガイド」を参照してください。

5 クライアントのユーザー・インターフェイス (UI) の概要

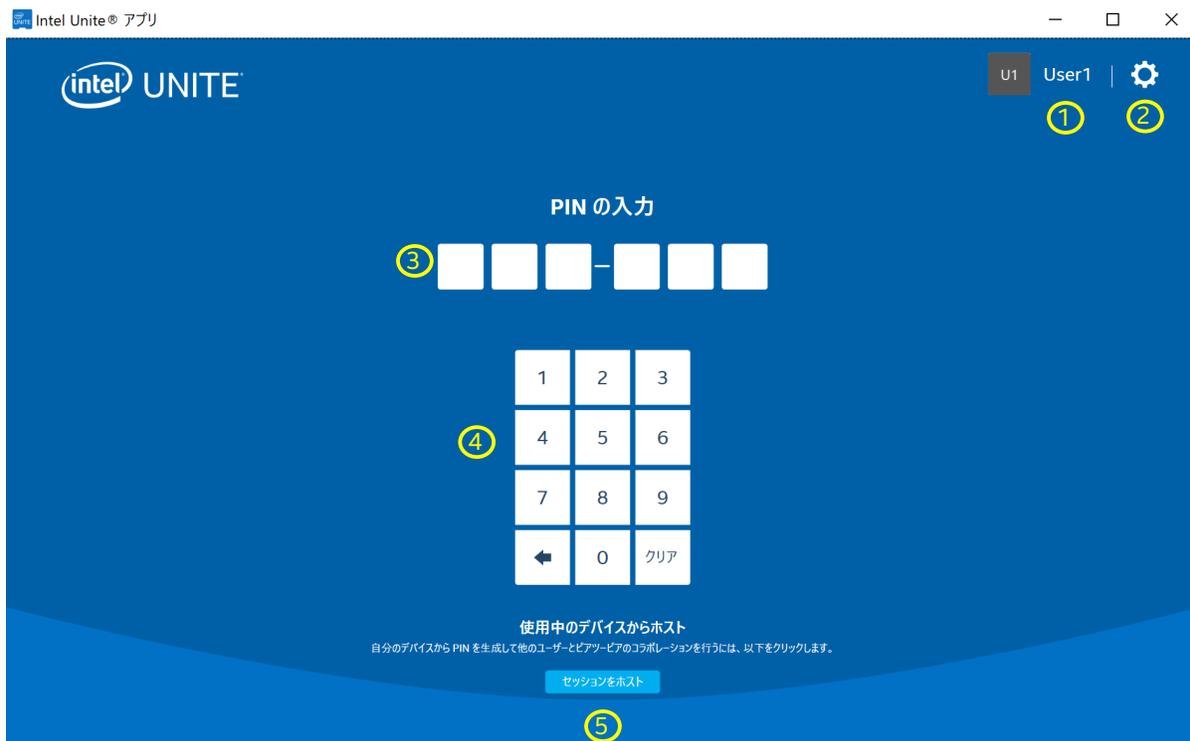
次のセクションでは、Intel Unite® クライアントの UI について説明します。Windows*、Mac*、Linux*、iOS*、Chrome* OS プラットフォームのクライアント UI は似ていますが、若干の違いがあります。各セクションには、その違いが記載されています。

ほかのプラットフォームとは異なる Android* クライアントの UI については、別セクションを設けて説明します。

5.1 ハブ接続前のクライアントの UI

図 2 は、クライアントがハブに接続されていないときに表示される画面を示しています。

図 2. ハブのログイン画面



1. **ユーザー** – ユーザー名です。
2. **設定** – クリックすると、クライアントの設定を表示、編集できます。
3. **PIN の入力** – ここに PIN を入力すると、ハブに接続できます。
4. **PIN 入力パッド** – PIN 入力パッドを使って PIN を入力し、ハブに接続します。
5. **[セッションをホスト] ボタン** – インテル® vPro™ プラットフォームでのみ使用できます。このボタンをクリックすると、ピアツーピア・セッションをホストすることができます。

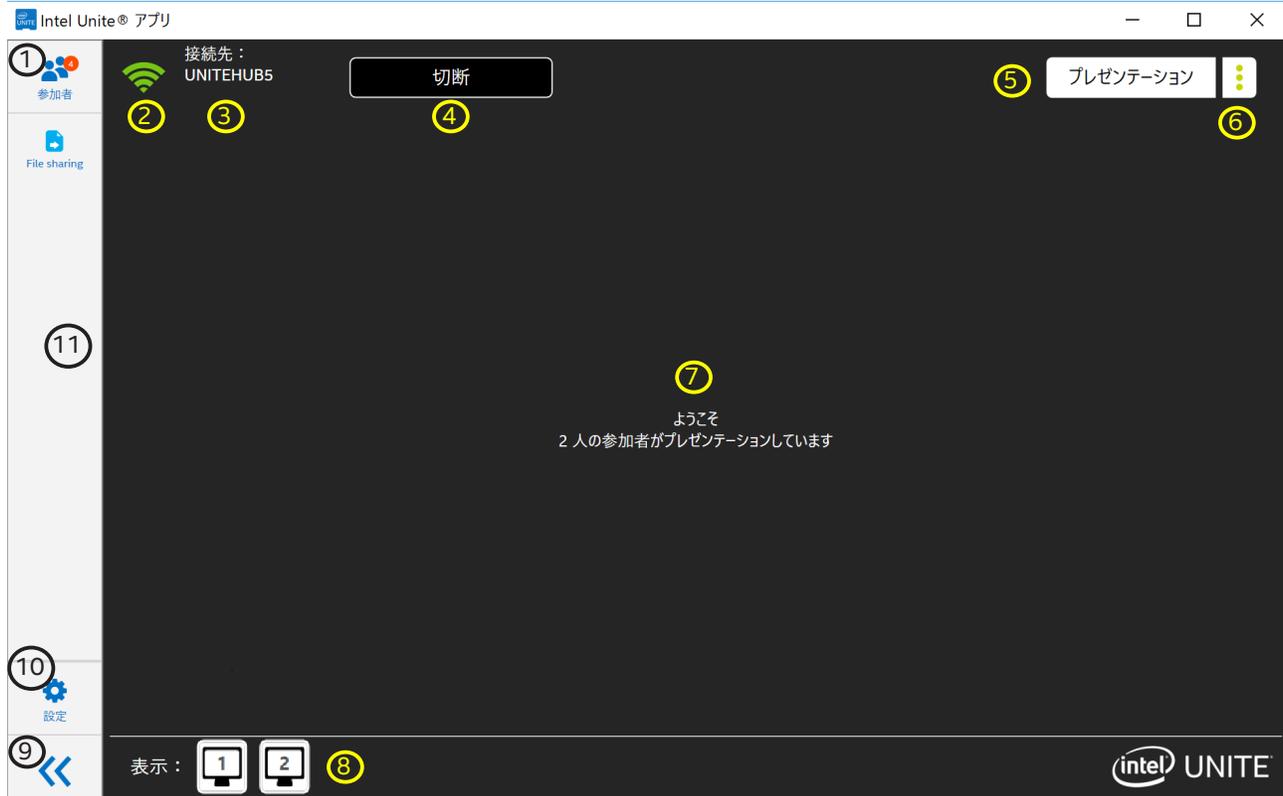
Chrome* OS、Linux* プラットフォームの場合：

スケジュールされたセッションの URL で接続 – これは、中央の下部に表示され、スケジュールされた会議にクライアントが参加することができます。**注：**上記の画像は、Windows* クライアントからのもので、この機能は表示されません。

5.2 ハブ接続後のクライアントの UI

図 3 は、クライアントのメイン UI です。

図 3. クライアントの接続画面



1. **[参加者]** アイコン - 参加者の人数を示しています。クリックすると、**参加者** オプションが表示されます。
2. **接続状態インジケータ** - ハブへのネットワーク接続の状態を示しています。
3. **ハブのコンピューター名** - ハブのコンピューター名を示しています。
4. **[切断]** ボタン - クリックすると、クライアントをハブから切断できます。
5. **[プレゼンテーション]** ボタン - クリックすると、ハブにプレゼンテーションできます。
6. **プレゼンテーション・オプション・ボタン** - クリックすると、**プレゼンテーション・オプション**が表示されます。セクション 5.4 および 5.5 を参照してください。
7. **プレゼンテーション表示エリア** - プレゼンテーションされているコンテンツが表示されます。
8. **プレゼンター・エリア** - プレゼンターのリストが表示されます。プレゼンターをクリックすると、そのプレゼンターのコンテンツを表示できます。プレゼンターがないときおよびプレゼンテーションしているハブのディスプレイがないときは、[表示] の右側のエリアは空白です。
9. **サイドパネルの非表示** - クリックすると、サイドパネルを非表示にできます。
10. **設定アイコン** - クリックすると、クライアント設定を表示し、編集できます。
11. **機能 / アプリエリア** - クライアント・アプリや拡張機能のリストが表示されます。

iOS* プラットフォームの場合：

[切断] - [切断] ボタンを表示するには、接続状態インジケータをクリックします。

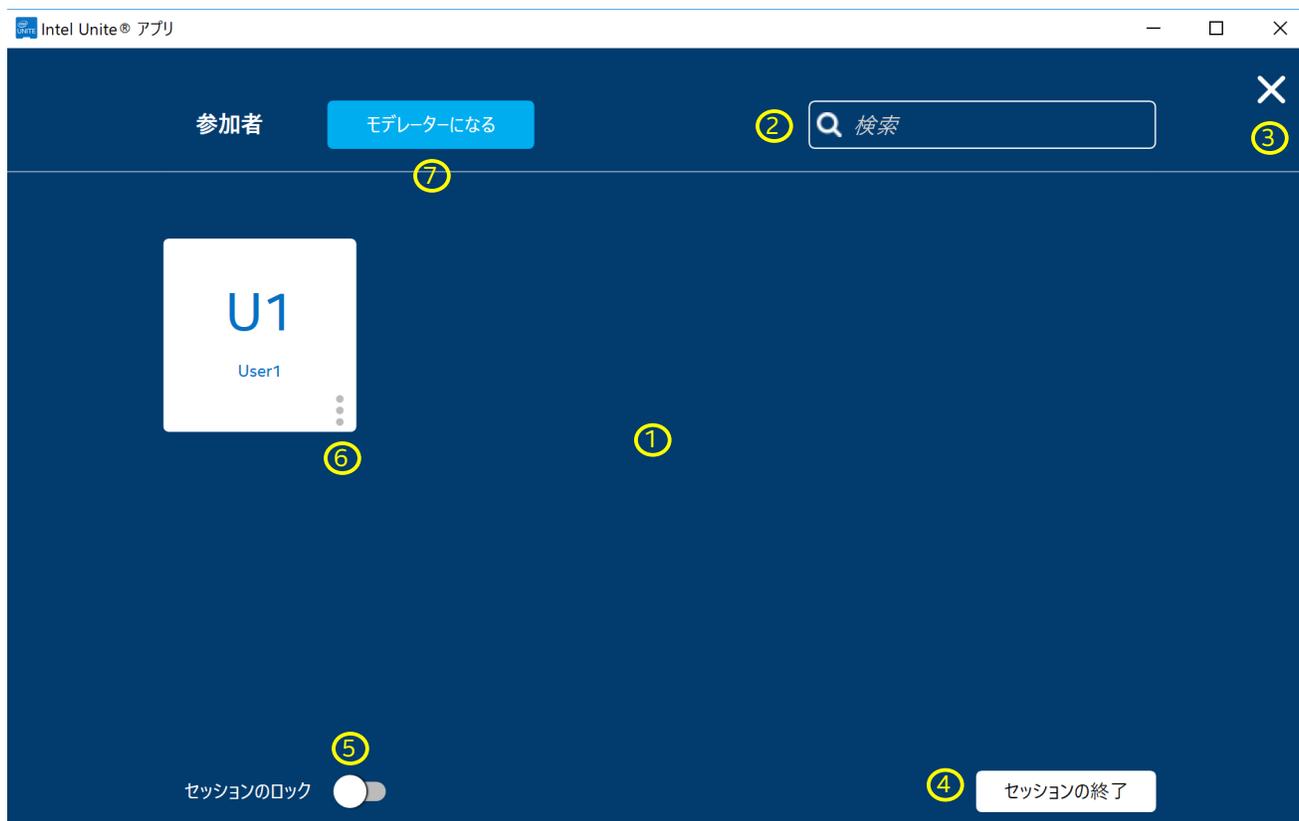
サイドパネルの非表示 - iOS* プラットフォームでは利用できません。

[全画面表示] - 表示領域を画面サイズいっぱい拡大する場合は、全画面表示アイコン () をクリックします。標準表示に戻るには、標準画面表示アイコン () をクリックします。

5.3 参加者ページ

図 4 に示すこのページは、セッションの参加者を表示、管理するための UI です。

図 4. クライアントの参加者画面



1. **参加者エリア** – ハブに接続しているすべての参加者が表示されます。
2. **検索ボックス** – 参加者の名前をテキスト入力し、検索できます。
3. **終了ボタン** – クリックすると、**参加者オプション**を閉じることができます。
4. **[セッションの終了] ボタン** – クリックすると、セッションを終了できます。これにより、すべての参加者がハブから切断されます。
5. **[セッションのロック] スイッチ** – オンに切り替えるとロックされます。これにより、新たなユーザーがセッションに参加できなくなります。
6. **参加者の詳細情報** – 参加者の詳細情報が表示されます。オプション追加表示アイコン () をクリックすると、参加者に対して行えるアクションが表示されます。
7. **[モデレーターになる] ボタン** – クリックすることで、ユーザーがモデレーターになることを許可できるように構成されている、ハブのモデレーターになることをリクエストします。
注 : IT 部門が制御する機能になります。この機能がみつからない場合は、IT 管理者に連絡してください。

5.4 プレゼンテーション・オプション – 画面

図 5 は、画面を共有している場合のプレゼンテーション・オプションの UI を示しています。

図 5. クライアントのプレゼンテーション画面



1. **【画面】/【アプリケーション】** – 画面とアプリケーションのオプションを切り替えることができます。
2. **終了ボタン** – クリックすると、**プレゼンテーション・オプション**を終了できます。
3. **画面選択** – 参加者は、プレゼンテーションする物理画面を選択できます。
4. **【引継ぎ】ボタン** – クリックすると、ハブへのプレゼンテーションを引継ぎ、自分だけがプレゼンターになることができます。**【引継ぎ】**ボタンを押しても、ほかのプレゼンターは切断されません。
5. **【プレゼンテーション】ボタン** – クリックすると、ハブにプレゼンテーションできます。
6. **【使用可能なディスプレイ】セレクトター** – プレゼンテーション先として現在選択されているハブ・ディスプレイが表示されます。チェックボックスを使用して、プレゼンテーションを表示するディスプレイを選択します。複数のディスプレイを選択すると、選択したすべてのディスプレイにプレゼンテーションすることができます。
注： 拡張ディスプレイ・ドライバーがインストールされている場合は、クライアントに接続された使用可能なすべての物理ディスプレイの下に、**【仮想拡張画面】**を選択するオプションが表示されます。仮想拡張画面を使用すると、クライアントに接続されている物理的なディスプレイに加えて、仮想画面のプレゼンテーションを行うことができます。

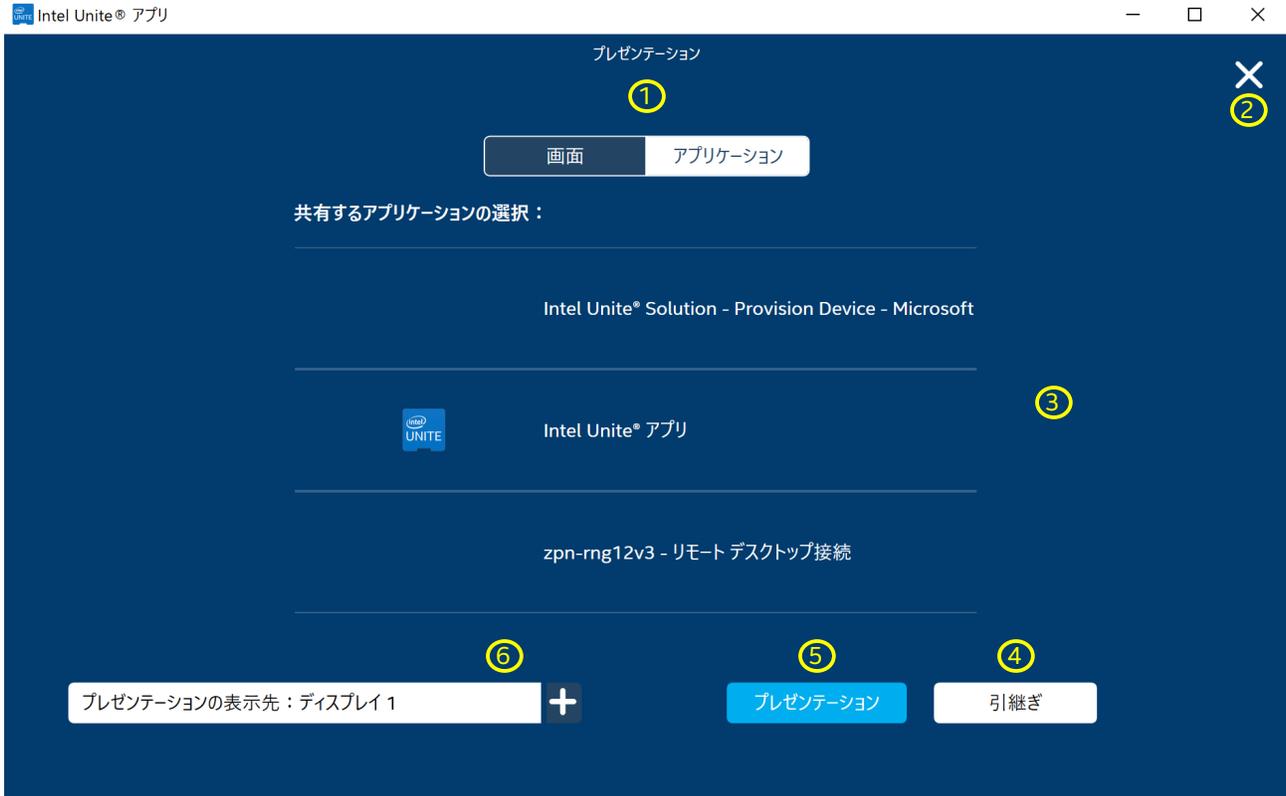
Chrome* OS、Linux* OS プラットフォームの場合：

表示する画面の選択は、別のウィンドウで行います。ウィンドウの左下隅に、オーディオ共有の有効と無効を切り替えるチェックボックスがあります。画面を選択して**【共有】**ボタンをクリックすると、選択したディスプレイをプレゼンテーションすることができます。

5.5 プレゼンテーション・オプション - アプリケーション

図 6 は、アプリケーションを共有している場合のプレゼンテーション・オプションの UI を示しています。

図 6. クライアントのアプリケーション・プレゼンテーション画面



1. **[画面] / [アプリケーション]** - 画面とアプリケーションのオプションを切り替えることができます。
2. **終了ボタン** - クリックすると、**プレゼンテーション・オプション**を終了できます。
3. **アプリケーション選択** - 参加者は、**プレゼンテーションするアプリケーション**を選択できます。
4. **[引継ぎ] ボタン** - クリックすると、ハブへの**プレゼンテーション**を引継ぎ、自分だけが**プレゼンター**になることができます。**[引継ぎ]** ボタンを押しても、ほかの**プレゼンター**は切断されません。
5. **[プレゼンテーション] ボタン** - クリックすると、ハブに**プレゼンテーション**できます。
6. **[使用可能なディスプレイ] セレクター** - **プレゼンテーション先**として現在選択されているハブ・ディスプレイが表示されます。複数のディスプレイがハブに接続されている場合、白いプラスアイコンをクリックすることで、ほかのハブ・ディスプレイを選択して**プレゼンテーション**できます。複数のディスプレイを選択すると、選択したすべてのディスプレイに**プレゼンテーション**することができます。

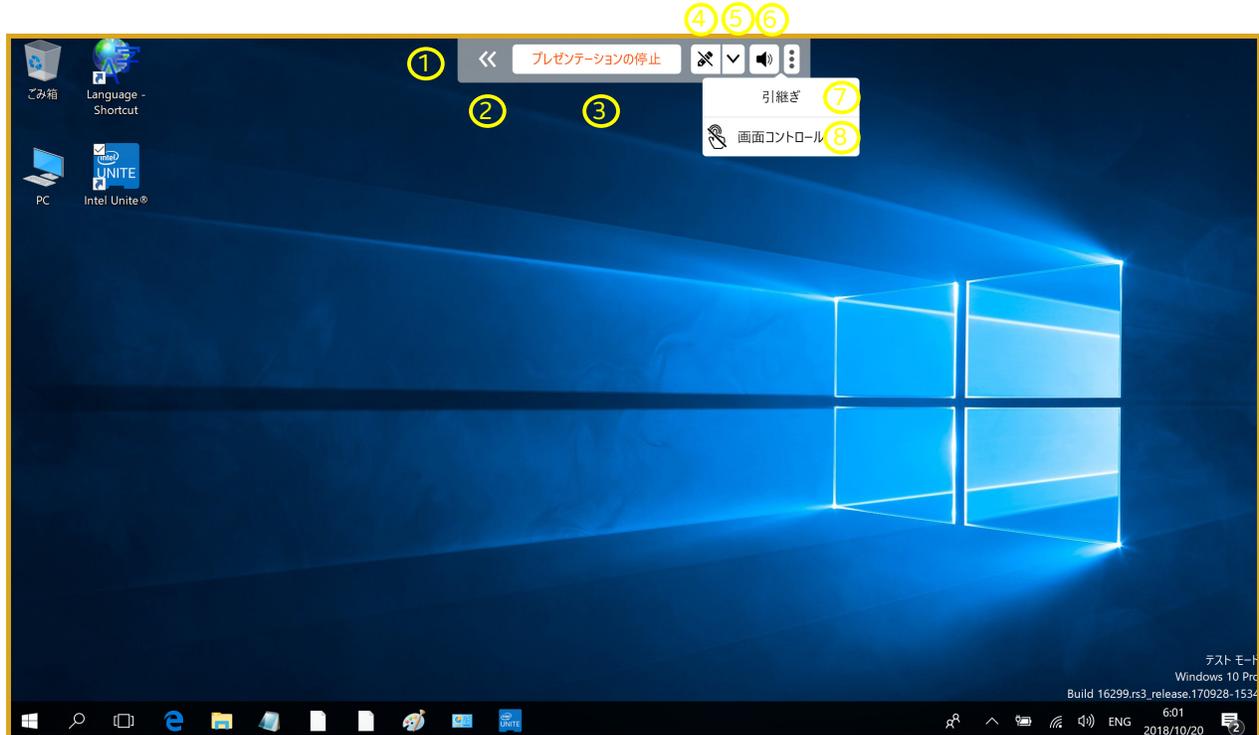
Chrome® OS、Linux® OS プラットフォームの場合：

表示するアプリケーションの選択は、別のウィンドウで行います。アプリケーションを選択して **[共有]** ボタンをクリックすると、選択したアプリケーションを**プレゼンテーション**することができます。

5.6 プレゼンテーション中

図 7 は、プレゼンテーション時の UI を示しています。

図 7. クライアントのプレゼンテーション画面

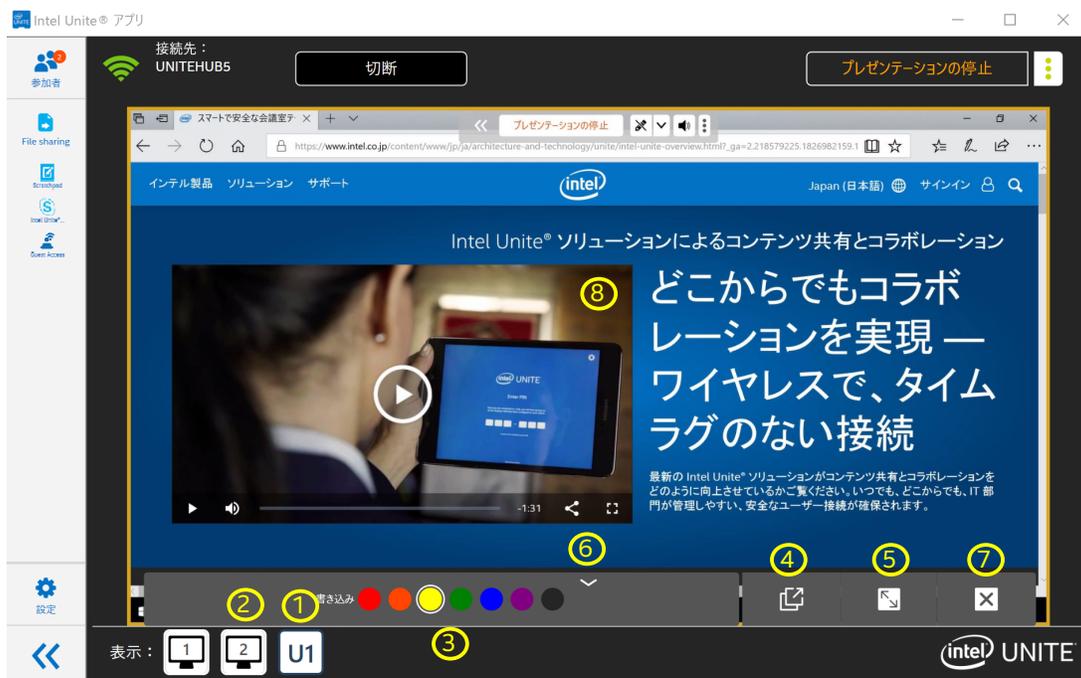


1. **プレゼンテーション・ツール・パネル** – プレゼンテーションしているときは、このパネルが画面上部中央に表示されます。
2. **プレゼンテーション・ツール・パネルの最小化** – クリックすると、プレゼンテーション・ツール・パネルが最小化されます。パネルが非表示の場合でもアイコンは表示されますが、矢印の向きが反対 () になります。
3. **[プレゼンテーションの停止] ボタン** – クリックすると、プレゼンテーションを停止できます。
4. **[書き込み] ボタン** – クリックすると、書き込み機能を使用できます。
5. **書き込みコントロール・パネルを開くボタン** – クリックすると、書き込みコントロール・パネルが表示されます。
6. **[ミュート] ボタン** – クリックすると、再生中のオーディオ付きビデオをミュートにすることができます。ミュートになっている場合、斜線がついたアイコン () が表示されます。
7. **[引継ぎ] ボタン** – クリックして、ディスプレイを引継ぎます。
注：このボタンは、複数のプレゼンターが同じハブのディスプレイでプレゼンテーションしている場合にのみ使用できます。
8. **[画面コントロール] ボタン** – クリックすると、ハブがクライアントを制御できるようになります。
注：Windows* 10 クライアントで、ハブに接続されているタッチ・ディスプレイを対象としたプレゼンテーションを表示する場合にのみ使用できます。

5.7 表示

図 8 は、プレゼンターのコンテンツを表示しているときの UI を示しています。

図 8. クライアントの表示画面



1. 選択されているプレゼンター – コンテンツが表示されているプレゼンターのアイコンは濃い青になります。
2. 選択されていないプレゼンター – コンテンツが表示されていないプレゼンターのアイコンは黒になります。
3. 書き込みの色 – 書き込みの色を選択します。
注：書き込みの色を選択するには、プレゼンターが視聴者のリモート書き込みを有効にする必要があります。プレゼンターがリモート書き込みを無効にすると、書き込みの色は表示されません。
4. [ポップアウト] ボタン – クリックすると、プレゼンターのコンテンツを別ウィンドウで表示できます。
5. [全画面表示] ボタン – クリックすると、プレゼンターのコンテンツを全画面表示できます。
6. [コントロール・パネル非表示] ボタン – クリックすると、[表示] コントロール・パネルが非表示になります。非表示のときは、パネルではなく上向きの矢印アイコン () が表示されます。
7. [表示の停止] ボタン – クリックすると、表示を停止できます。
8. 表示エリア – プレゼンターのコンテンツが表示されるエリアです。

Mac* OS、Linux*、および Chrome* OS クライアントでは、次のコントロールを使用できます (図 8 では表示されていません)。

- 書き込みのオン / オフ () – Mac* OS でのみ使用できます。クリックして書き込みのオンとオフを切り替えます。ペンアイコンが白の場合は、書き込みがオフになっています。ペンアイコンが選択された色になっている場合は、書き込みがオンになっています。
- ズームイン () – クリックしてプレゼンテーションを拡大します。
- ズームアウト () – クリックしてプレゼンテーションを縮小します。
- ズームのリセット () – クリックしてズームをリセットします。

5.8 クライアント設定

[設定] ユーザー・インターフェイスは、Windows* プラットフォームと非 Windows* プラットフォームの間で異なります。

5.8.1 Windows* クライアント設定

このセクションでは、Windows* プラットフォームの [設定] ユーザー・インターフェイスを示します。

5.8.1.1 クライアント設定 – プロファイル

図 9 は、Windows* プラットフォームのクライアント・プロファイル設定をカスタマイズするための UI を示しています。

図 9.Windows* クライアント設定のプロファイル画面



一部の設定は、一部のプラットフォームには適用されません。

1. [プロフィール]/[構成] – [プロフィール] 設定と [構成] 設定を切り替えることができます。
2. 終了ボタン – クリックすると、[設定] 画面を閉じることができます。
3. [写真の更新] – 参加者は、画像やアバターをアップロードできます。
4. [ユーザー名] – 参加者の名前が表示され、編集することができます。
5. [ユーザーのイニシャル] – 参加者のイニシャルが表示され、編集することができます。
6. [プレゼンテーション枠を表示] チェックボックス – ボックスにチェックを入れると、プレゼンテーションしているディスプレイに黄色の枠が表示されます。注：Linux*、Chrome* OS、Mac* OS、iOS* プラットフォームでは利用できません。
7. [別のウィンドウで表示] チェックボックス – ボックスにチェックを入れると、プレゼンテーションされているコンテンツを別ウィンドウで表示します。
8. [セッションをホストしているときに接続リクエストを自動的に承認する] – チェックボックスをオンにすると、クライアントがセッションをホストしているときに、自動的に接続を受け入れます。
9. [情報] – クリックすると、クライアント・アプリケーションについての情報が表示されます。
10. [インテルのプライバシー通知] – クリックすると、インテルのプライバシー通知が表示されます。
11. [デフォルトに戻す] – クリックすると、デフォルト設定に戻すことができます。
12. [設定の保存] ボタン – クリックすると、設定の変更内容を保存できます。

5.8.1.2 (Windows*) クライアント設定 – 構成

図 10 は、Windows* プラットフォームでクライアントの構成設定をカスタマイズするための設定 UI を示しています。

図 10.Windows* クライアント設定の構成画面



1. [プロフィール]/[構成] – [プロフィール] 設定と [構成] 設定を切り替えることができます。
2. 終了ボタン – クリックすると、設定画面を閉じることができます。
3. [エンタープライズ・サーバー] – サーバーの URL が表示されます。
4. [Org ID] – OrgID GUID が表示されます。
5. [組織名] – 組織名を表示します。
6. [匿名の使用状況データを収集して送信] チェックボックス – オンにした場合、匿名データが収集されます。オフの場合、匿名データは収集されません。注：これは、IT 部門によって設定された構成のために表示されない場合があります。データ収集の詳細については、IT 管理者に連絡してください。
7. [デバッグログを有効にする] チェックボックス – ボックスにチェックを入れると、ログファイルにデバッグ情報を保存します。
8. [ユーザートークンをクリア] ボタン – クリックすると、クライアントをエンタープライズ・サーバーから切り離すことができます。
9. [デフォルトに戻す] – クリックすると、デフォルト設定に戻すことができます。
10. [設定の保存] ボタン – クリックすると、設定の変更内容を保存できます。

5.8.2 Windows* 以外のクライアント設定

このセクションでは、Windows* 以外のプラットフォームの設定 UI を示します。

5.8.2.1 クライアント設定 – プロファイル

図 11 は、Windows* 以外のプラットフォームのクライアント・**プロファイル**設定をカスタマイズするための UI を示しています。

図 11.Windows* 以外のクライアント設定のプロファイル画面の例 (以下は Mac* OS)



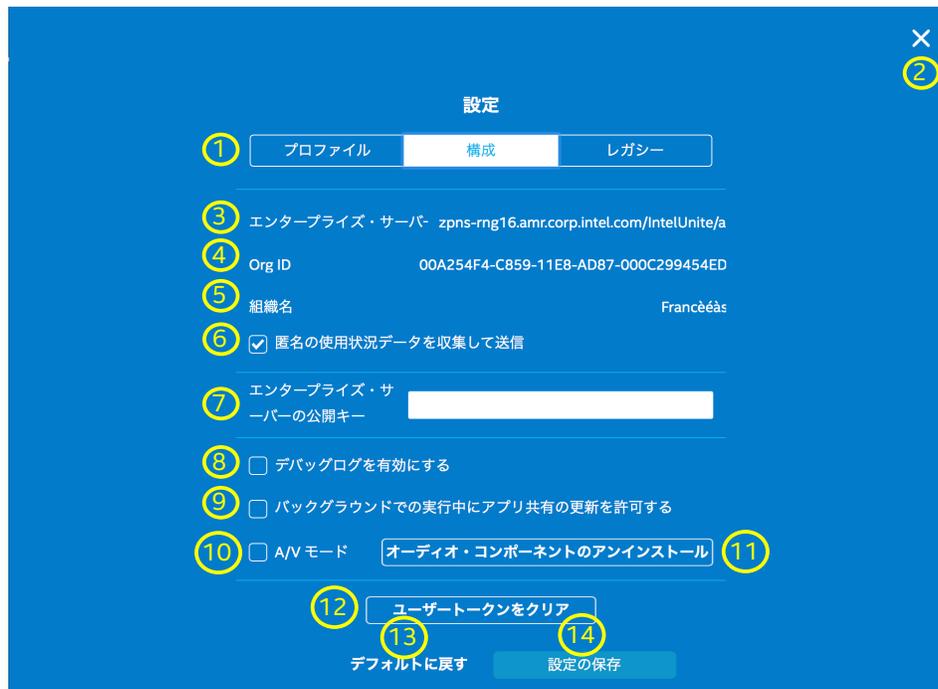
一部の設定は、一部のプラットフォームには適用されません。

1. **[プロフィール]/[構成]/[レガシー]** – **[プロフィール]**、**[構成]**、および **[レガシー]** 設定を切り替えることができます。
2. **終了ボタン** – クリックすると、**[設定]** 画面を閉じることができます。
3. **[写真の更新]** – 参加者は、画像やアバターをアップロードできます。
4. **[ユーザー名]** – 参加者の名前が表示され、編集することができます。
5. **[ユーザーのイニシャル]** – 参加者のイニシャルが表示され、編集することができます。
6. **[プレゼンテーション枠を表示] チェックボックス** – ボックスにチェックを入れると、プレゼンテーションしているディスプレイに黄色の枠が表示されます。Mac* OS プラットフォームでのみ使用できます。
7. **[別のウィンドウで表示] チェックボックス** – ボックスにチェックを入れると、プレゼンテーションされているコンテンツを別ウィンドウで表示します。Mac* OS、Chrome* OS、および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。
8. **[情報]** – クリックすると、クライアント・アプリケーションについての情報が表示されます。
9. **[インテルのプライバシー通知]** – クリックすると、プライバシー通知が表示されます。
10. **[デフォルトに戻す]** – クリックすると、デフォルト設定に戻すことができます。
11. **[設定の保存] ボタン** – クリックすると、設定の変更内容を保存できます。

5.8.2.2 クライアント設定 – 構成

図 12 は、Windows* 以外のプラットフォームでクライアントの [構成] 設定をカスタマイズするための設定 UI を示しています。

図 12.Windows* 以外のクライアント設定の構成画面の例 (以下は Mac* OS)



1. [プロファイル] / [構成] / [レガシー] – [プロファイル]、[構成]、および [レガシー] 設定を切り替えることができます。
2. 終了ボタン – クリックすると、設定画面を閉じることができます。
3. [エンタープライズ・サーバー] – サーバーの URL が表示されます。
4. [Org ID] – Org ID GUID が表示されます。Org ID は、Mac* OS クライアントのラベルです。
5. [組織名] – 組織名を表示します。Chrome* OS および Linux* プラットフォームでは利用できません。
6. [匿名の使用状況データを収集して送信] – 匿名の使用状況データを収集してインテルに送信することを許可するには、チェックボックスをオンにします。この設定を使用できない場合は、IT 管理者に連絡して、データ収集ポリシーに関する情報を確認してください。
7. [エンタープライズ・サーバーの公開キー] – サーバーの公開キーです。
8. [デバッグログを有効にする] チェックボックス – ボックスにチェックを入れると、ログファイルにデバッグ情報を保存します。Mac* OS、Chrome* OS、および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。
9. [バックグラウンドでの実行中にアプリ共有の更新を許可する] – ボックスにチェックを入れると、バックグラウンドでのアプリ共有の更新が有効になります。これにより、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。この機能を無効にしている場合、前面で実行されているアプリのみがプレゼンテーション用として有効となります。Mac* OS プラットフォームでのみ使用できます。
10. [A/V モード] を有効にするチェックボックス – 選択すると、ビデオとオーディオの再生共有を有効化できます。Mac* OS および Chrome* OS プラットフォームでのみ使用できます。
11. [オーディオ・コンポーネントのインストール] と [オーディオ・コンポーネントのアンインストール] – クリックすると、オーディオ・コンポーネントのインストールとアンインストールを行うことができます。Mac* OS プラットフォームでのみ使用できます。

12. **[ユーザートークンをクリア] ボタン** – クリックすると、クライアントをエンタープライズ・サーバーから切り離すことができます。
13. **[デフォルトに戻す]** – クリックすると、デフォルト設定に戻すことができます。
14. **[設定の保存] ボタン** – クリックすると、設定の変更内容を保存できます。

[デバッグログの表示] – デバッグログを開きます。画像はありません。Android* プラットフォームでのみ使用できます。

[組織を追加する] – クリックして、別の組織を追加します。画像はありません。Chrome* OS および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。

5.8.2.3 クライアント設定 – レガシー

図 13 は、Mac* OS のレガシー設定ページを示しています。このページは、Windows* 以外の他のプラットフォームでは多少異なります。他のプラットフォームの異なる設定すべてについては、図の下の説明を参照してください。

図 13.Windows* 以外のクライアント設定のレガシー画面の例 (以下は Mac* OS)



1. **[プロフィール]/[構成]/[レガシー]** – [プロフィール]、[構成]、および [レガシー] 設定を切り替えることができます。
2. **終了ボタン** – クリックすると、設定画面を閉じることができます。
3. **サーバーの [自動] チェックボックス** – このボックスにチェックを入れると、Intel Unite® ソリューション・サーバーが自動的に検出されます。Mac* OS および Android* プラットフォームでのみ使用できます。
4. **空白のテキストフィールド** – Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN が分かっている場合は、FQDN をテキストボックスに入力します。Mac* OS および Android* フォン・プラットフォームでのみ使用できます。
5. **[デフォルトに戻す] ボタン** – クリックすると、デフォルト設定に戻すことができます。
6. **[設定の保存] ボタン** – クリックすると、設定の変更内容を保存できます。

上の図に示されていない Windows* 以外の他のプラットフォームの設定：



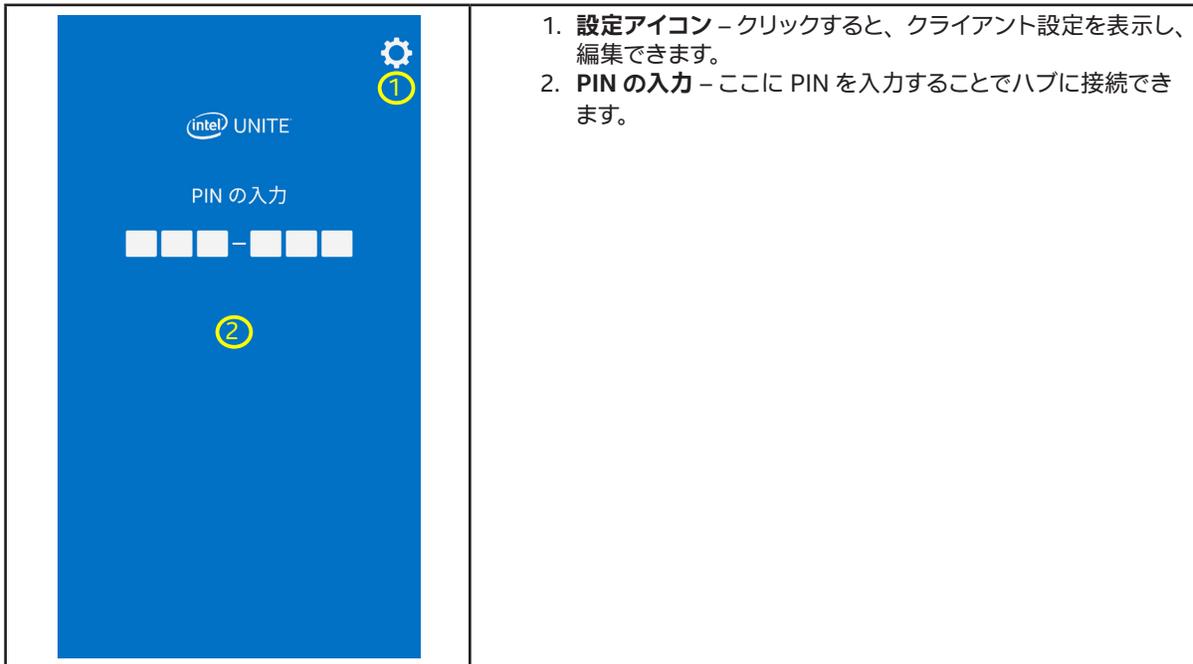
- **サーバー設定 ([自動] または [手動] ボタン)** – [自動] を選択すると、Intel Unite® ソリューション・サーバーが自動的に検索されます。サーバー情報を手動で設定するには、[手動] を選択します。Linux* および iOS* プラットフォームでのみ使用できます。
- **サーバー設定 (テキストフィールド)** – Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN が分かっている場合は、FQDN をテキストボックスに入力します。Linux* および Chrome* OS プラットフォームでのみ使用できます。
- **サーバー (テキストフィールド)** – Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN が分かっている場合は、FQDN をテキストボックスに入力します。iOS* プラットフォームでのみ使用できます。
- **エンタープライズ・サーバー (テキストフィールド)** – Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN が分かっている場合は、FQDN をテキストボックスに入力します。Android* タブレット・プラットフォームでのみ使用できます。
- **モデレーター・トークンの URL (テキストフィールド)** – モデレーター・トークンの URL をコピーしてこのテキストボックスに貼り付けると、このクライアントのユーザーは、モデレート会議のモデレーターになることができます。Chrome* OS および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。

5.9 Android* クライアントの UI

スマートフォンで実行されている Android* の UI は、他のクライアントの UI とは異なります。このセクションでは、Android* の UI について説明します。

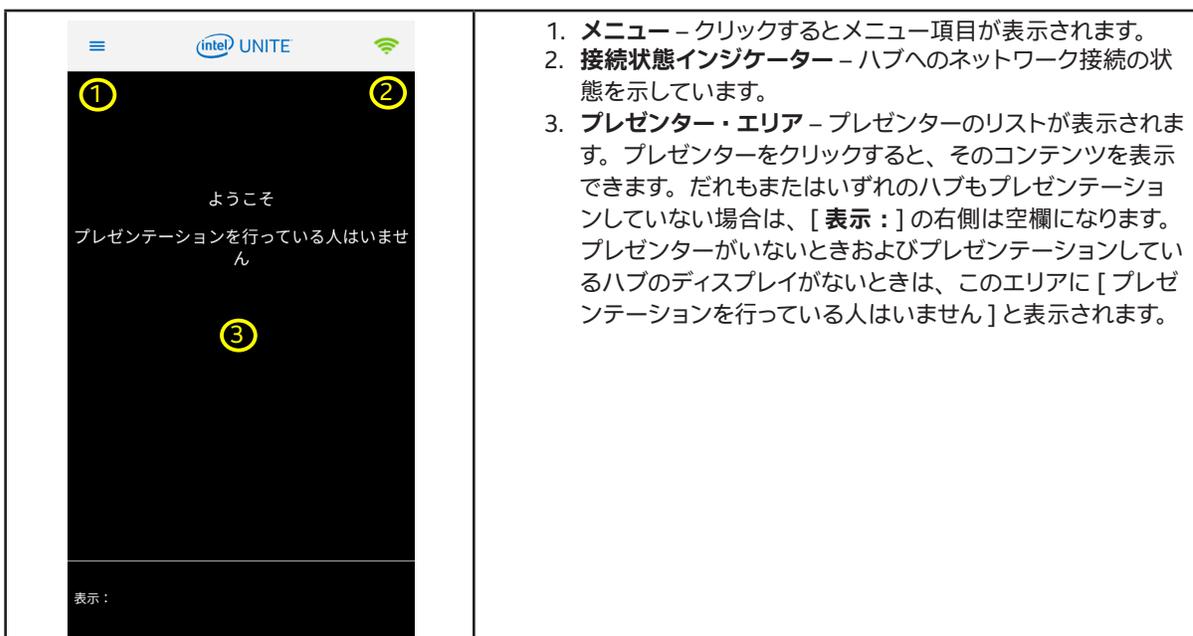
5.9.1 PIN 入力画面

図 14.Android* クライアントの PIN 入力画面



5.9.2 ハブに接続

図 15.Android* クライアントの接続画面



5.9.3 メニュー

図 16.Android* クライアントのメニュー

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【プレゼンテーション】ボタン – クリックすると、ハブにプレゼンテーションできます。 2. 【アプリ】 – 拡張機能に使用できるアプリを表示します。 3. 【参加者】アイコン – 参加者の人数を示しています。クリックすると、参加者オプションが表示されます。 4. 【設定】アイコン – クリックすると、クライアント設定を表示し、編集できます。 5. 【セッションのロック】コントロール – セッションのロックとロック解除を切り替えられます。ロックされたセッションには、新たな参加者が加わることはできません。 6. 【切断】ボタン – クリックすると、クライアントをハブから切断できます。
--	---

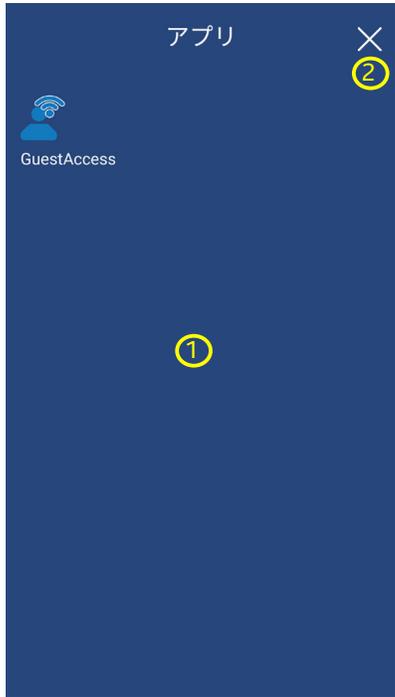
5.9.4 プレゼンテーション中

図 17.Android* クライアントのプレゼンテーション画面

	<ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーション・ビュー – プレゼンテーション時に表示されます。
---	--

5.9.5 アプリ

図 18.Android* クライアントのアプリ画面

	<ol style="list-style-type: none"> 1. [アプリ] – このエリアには、機能を拡張する使用可能なアプリが表示されます。 2. 終了ボタン – クリックすると、[アプリ] ページを閉じることができます。
--	--

5.9.6 参加者

図 19.Android* クライアントの参加者画面

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終了ボタン – クリックすると、[参加者] ページを閉じることができます。 2. [モデレーターになる] ボタン – クリックすると、モデレーターになることができます。 注：このボタンは、ハブ会議モードが 1 に設定されていて、会議にモデレーターが存在しない場合にのみ表示されます。ハブ会議モードの設定については、IT 管理者にお問い合わせください。 3. [参加者] – このエリアには、セッションに接続されているユーザーが表示されます。
---	--

5.9.7 [設定]-[プロフィール]

図 20.Android* クライアント設定のプロフィール画面

	<ol style="list-style-type: none"> 1. [写真の更新] – 参加者は画像をアップロードできます。 2. [ユーザー名] – 参加者の名前が表示され、編集することができます。 3. [ユーザーのイニシャル] – ユーザーのイニシャルが表示され、編集することができます。 4. [情報] – クリックすると、情報ページが表示されます。 5. [インテルのプライバシー通知] – クリックすると、プライバシー通知が表示されます。 6. [設定の保存] ボタン – クリックすると、設定の変更内容を保存できます。 7. [デフォルトに戻す] – 設定をデフォルト値に戻します。 8. 終了ボタン – クリックすると、[設定] ページを閉じることができます。
--	--

5.9.8 [設定]-[構成]

図 21.Android* クライアント設定の構成画面

	<ol style="list-style-type: none"> 1. [エンタープライズ・サーバー] – Intel Unite® ソリューション・サーバーのコンピューター名が表示されます。 2. [Org ID] – Org ID の値が表示されます。 3. [組織名] – 組織名を表示します。 4. [匿名の使用状況データを収集して送信] チェックボックス – このボックスにチェックを入れると、テレメトリー・データを収集できます。 5. [エンタープライズ・サーバーの公開キー] – 証明書の公開キーです。 6. [デバッグログの表示] – クリックすると、ログが表示されます。 7. [ユーザートークンをクリア] – クリックすると、このデバイスを現在の組織から切り離すことができます。 8. [設定の保存] ボタン – クリックすると、設定の変更内容を保存できます。 9. [デフォルトに戻す] – 設定をデフォルト値に戻します。 10. 終了ボタン – クリックすると、[設定] ページを閉じることができます。
--	---

5.9.9 [設定]-[レガシー]

図 22.Android* クライアント設定のレガシー画面

	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバー ([自動]) チェックボックス – チェックボックスにチェックを入れます 2. 空白のテキストフィールド – 3.x 環境の Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN を設定します。 3. [設定の保存] ボタン – クリックすると、設定の変更内容を保存できます。 4. [デフォルトに戻す] – 設定をデフォルト値に戻します。 5. 終了ボタン – クリックすると、[設定] ページを閉じることができます。
--	--

5.9.10 表示

図 23.Android* クライアントの表示画面

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表示エリア – プレゼンターのコンテンツが表示されるエリアです。 2. [全画面表示] ボタン – クリックすると、プレゼンターのコンテンツを全画面表示できます。 3. 終了ボタン – 表示を停止します。 4. 書き込みコントロール・パネルを開く – クリックすると書き込みコントロール・パネルが開きます。 5. プレゼンター・エリア – プレゼンテーションを行っているユーザーがこのエリアに表示されます。画像は 1 人のプレゼンターを示しています。
--	---

5.9.11 書き込み

図 24.Android* クライアントの書き込み画面



5.10 ランドスケープおよびポートレート・モードのサポート

異なる OS プラットフォームのクライアントでは、ランドスケープとポートレート・モードのサポートが異なります。次の表は、OS プラットフォーム毎のランドスケープとポートレート・モードのサポートを示しています。

ランドスケープおよびポートレート・モードのサポート表

モード	Windows*	Mac* OS	iOS*	Android*	Chrome* OS	Linux*
ランドスケープ	はい	はい	はい	はい	*	はい
ポートレート	はい	いいえ	はい	はい	*	いいえ

* デバイス依存 - デバイスによっては、ランドスケープ・モードまたはポートレート・モードいずれか一方のみしかサポートしないものもあります。

6 クライアント設定

Intel Unite® クライアントの設定では、参加者がユーザー名の変更、アバターの追加、「情報」ページやプライバシー通知ページの表示、クライアントの構成を行うことができます。

クライアント設定にアクセスするには、クライアント・アプリケーションの左下にある歯車アイコン () をクリックします。この操作で、[設定] 画面が開きます。

Android* の UI は、他のクライアントの UI と大きく異なっています。Android* クライアントの詳細については、セクション 5.9.7 を参照してください。

各設定タブに共通しているのは [デフォルトに戻す] ボタンと [設定の保存] ボタンです。これらのボタンは、設定をデフォルト値にリセットする場合、および設定の変更内容を保存する場合に使用します。

[プロフィール] タブでは、以下の設定を行うことができます。

- **[写真の更新]** – クリックすると、アバターとして使用する画像をアップロードできます。変更するには、[写真の更新] をクリックして画像を選択し、[開く] をクリックした後、[設定の保存] をクリックします。
- **[ユーザー名]** – クライアントがハブに接続されているときに、ハブに表示されるクライアントの名前です。変更するには、[ユーザー名] テキストボックスに名前を入力し直し、[設定の保存] をクリックします。
- **[ユーザーのイニシャル]** – 画像をアップロードしていないクライアントがハブに接続されているときに、ハブに表示されるクライアントのイニシャルです。変更するには、[ユーザーのイニシャル] テキストボックスにイニシャルを入力し直し、[設定の保存] をクリックします。
- **[プレゼンテーション枠を表示] チェックボックス** – チェックボックスをオンにすると、プレゼンテーションしているディスプレイの周りに黄色の枠が表示されます。Windows* および Mac* OS プラットフォームでのみ使用できます。
- **[別のウィンドウで表示] チェックボックス** – チェックボックスをオンにすると、プレゼンテーションを別ウィンドウで表示します。Windows*、Mac* OS、Chrome* OS、および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。
- **[セッションをホストしているときに接続リクエストを自動的に承認する] チェックボックス** – チェックボックスをオンにすると、セッションをホストしているときに、自動的に接続を受け入れます。Windows* プラットフォームでのみ使用できます。
- **[情報]** – クリックすると、Intel Unite® アプリケーションについての情報が表示されます。
- **[インテルのプライバシー通知]** – クリックすると、プライバシー通知が表示されます。

[構成] タブには、次の設定が含まれます。

- **サーバー設定 ([自動] または [手動])** – [自動] を選択すると、Intel Unite® ソリューション・サーバーが自動的に検出されます。サーバー情報を入力するには、[手動] を選択します。Linux* プラットフォームでのみ使用できます。
- **[エンタープライズ・サーバー]** – エンタープライズ・サーバーの URL が表示されます。
- **[Org ID]** – OrgID GUID が表示されます。
- **[組織名]** – 組織の名前を表示します。
- **[匿名の使用状況データを収集して送信] チェックボックス** – データの収集と送信を許可するにはチェックボックスをオンにします。この項目が表示されていない場合は、データ収集ポリシーについて IT 管理者に問い合わせてください。
- **[エンタープライズ・サーバーの公開キー]** – サーバーの公開キーです。Mac* OS、Chrome* OS、iOS*、Linux*、および Android* プラットフォームでのみ使用できます。
- **[デバッグログの表示]** – デバッグログを開きます。Android* プラットフォームでのみ使用できます。



- **[デバッグログを有効にする] チェックボックス** – ボックスにチェックを入れると、デバッグ情報を記録しはじめます。ログは、ユーザーのドキュメント・ディレクトリー (**Unite.log**) に保存されます。Windows*、Mac* OS、Chrome* OS、および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。
- **[バックグラウンドでの実行中にアプリ共有の更新を許可する]** – 選択すると、バックグラウンドでのアプリの共有が有効になります。Mac* OS プラットフォームでのみ使用できます。
- **[A/V モード] を有効にするチェックボックス** – 選択すると、ビデオとオーディオの再生共有を有効化できます。Mac* OS および Chrome* OS プラットフォームでのみ使用できます。
- **[オーディオ・コンポーネントのインストール] と [オーディオ・コンポーネントのアンインストール] ボタン** – クリックすると、オーディオ・コンポーネントのインストールとアンインストールを行うことができます。オーディオ・コンポーネントがない場合、オーディオ付きのビデオを再生しても、オーディオは再生されません。Mac* OS プラットフォームでのみ使用できます。
- **[ユーザートークンをクリア]** – クリックすると、クライアントの登録が解除されます。
- **[組織を追加する]** – クリックして、別の組織を追加します。Chrome* および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。

[レガシー] タブでは、以下の設定を行うことができます (Windows* 以外のプラットフォームのみ)。

- **サーバー設定 ([自動] または [手動] ボタン)** – [自動] を選択すると、Intel Unite® ソリューション・サーバーが自動的に検索されます。サーバー情報を設定するには、[手動] を選択します。Linux* および iOS* プラットフォームでのみ使用できます。
- **サーバー設定 (テキストボックス)** – Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN を入力します。Chrome* OS および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。
- **サーバー [自動] (チェックボックス)** – Intel Unite® ソリューション・サーバーを自動検索するには、[自動] チェックボックスをオンにします。Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN が分かっている場合は、FQDN をテキストボックスに入力し、[自動] チェックボックスをオフにします。Mac* OS および Android* プラットフォームでのみ使用できます。
- **サーバー (テキストフィールド)** – サーバー URL が表示されます。iOS* プラットフォームでのみ使用できます。
- **ラベルのないテキストフィールド** – サーバーの自動検出が無効になっている場合は、Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN を入力します。Mac* OS および Android* フォン・プラットフォームでのみ使用できます。
- **[エンタープライズ・サーバー] (テキストフィールド)** – サーバーの自動検出が無効になっている場合は、Intel Unite® ソリューション・サーバーの FQDN を入力します。Mac* OS および Android* プラットフォームでのみ使用できます。Android* タブレット・プラットフォームでのみ使用できます。
- **モデレーター・トークンの URL** – このデバイスから Intel Unite® ソリューションのモデレート会議に接続する場合、モデレーター・トークンの URL をここにコピーして、ユーザーがモデレーターになれるようにします。Chrome* OS および Linux* プラットフォームでのみ使用できます。

7 クライアント機能

クライアント・デバイスをハブに接続すると、Intel Unite® ソリューションの便利なコラボレーション機能を使用できます。このセクションでは、Intel Unite® ソリューションのクライアント機能を使用する手順について説明します。

7.1 クライアント機能リスト

下表は、各クライアント・プラットフォームでサポートしている機能を示しています。一部機能は、IT 管理やプラットフォーム・サポート上の理由で利用できない場合があります。

7.1.1 プレゼンテーション機能表

機能	Windows*	Mac*	Linux*	iOS*	Android*	Chrome* OS
アプリケーションのプレゼンテーション	はい	はい	はい	制限あり*	いいえ	はい
物理的な拡張ディスプレイのプレゼンテーション	はい	はい	はい**	いいえ	いいえ	はい**
画面のプレゼンテーション	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい
仮想拡張ディスプレイのプレゼンテーション	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
プレゼンテーション枠の表示	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
プレゼンテーションの引継ぎ	はい	はい	はい	はい	はい	はい
オーディオ付きビデオ再生のサポート	はい	はい	ビデオのみ	いいえ	いいえ	はい

* iOS* では、ドキュメント、ウェブページ、カメラロールの画像をプレゼンテーションすることができます。

** OS によって提供される機能。

7.1.2 表示機能表

機能	Windows*	Mac*	Linux*	iOS*	Android*	Chrome* OS
プレゼンテーションの表示	はい	はい	はい	はい	はい	はい
表示ウィンドウのポップアウト	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい

7.1.3 コラボレーション機能表

機能	Windows*	Mac*	Linux*	iOS*	Android*	Chrome* OS
書き込み	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ファイルの共有	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

7.1.4 セッション管理機能表

機能	Windows*	Mac*	Linux*	iOS*	Android*	Chrome* OS
接続状態インジケータ	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ハブからの切断	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ほかのユーザーの切断	はい	はい	はい	はい	はい	はい
セッションの終了	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
使用中のデバイスからホスト (インテル® vPro™ テクノロジーのみ)	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
会議のロック	はい	はい	はい	はい	はい	はい
モデレーターの制御	はい	はい	はい	はい	はい	はい
スケジュールされた会議	はい	はい	はい	はい	はい	はい

7.1.5 アプリ機能表

機能	Windows*	Mac*	Linux*	iOS*	Android*	Chrome* OS
Intel Unite® ソリューション・アプリの表示と実行	はい	はい	はい	はい	はい	はい

7.1.6 その他の機能表

機能	Windows*	Mac*	Linux*	iOS*	Android*	Chrome* OS
自動更新	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
フル・アクセスビリティ	はい	はい	はい	はい	はい	はい
リアルタイムのプロファイル更新	はい	はい	はい	はい	はい	はい

7.2 プレゼンテーション機能

このセクションでは、プレゼンテーション機能について、さらに詳しく説明します。

7.2.1 画面のプレゼンテーション

Intel Unite® ソリューションでは、参加者が接続先のハブのディスプレイにコンテンツを素早くプレゼンテーションできます。画面をプレゼンテーションする方法は、以下のとおりです。

1. クライアントをハブに接続します。
2. [**プレゼンテーション**] をクリックし、第 1 ディスプレイのコンテンツをプレゼンテーションします。
3. プレゼンテーションを停止するには、[**プレゼンテーションの停止**] をクリックします。

複数のディスプレイがクライアントに接続されている場合、別の画面を選択してプレゼンテーションするには、次の手順を実行します。

1. プレゼンテーション・オプションのアイコン () をクリックし、プレゼンテーション・オプションのページを開きます。
2. [画面] をクリックします。
3. 共有するアプリケーションをリストから選択し、[プレゼンテーション] をクリックします。
4. 画面の共有を停止するには、[プレゼンテーションの停止] をクリックします。

画面のプレゼンテーション中、プレゼンテーション・ツールバーが画面の上部に表示されます。図 24 を参照してください
注： [引継ぎ] は、複数のプレゼンターが同じハブのディスプレイでプレゼンテーションしている場合にのみ表示され、[画面コントロール] は、ハブのディスプレイがタッチ対応の場合にのみ表示されます。

図 25. プレゼンテーション・ツールバー



ペンアイコンの横にある下向き矢印をクリックすると、書き込みコントロールが開きます。図 26 を参照してください。

図 26. 書き込みコントロール



7.2.2 アプリケーションのプレゼンテーション

[アプリケーションのプレゼンテーション] オプションでは、参加者が 1 つまたは複数のアプリケーションを選択してプレゼンテーションすることができます。選択したアプリケーション以外のコンテンツは、共有されません。一度に共有できるアプリケーションは 1 つのみです。複数のアプリケーションが選択されている場合、アクティブなアプリケーション・ウィンドウのみがハブに共有されます。

注： iOS* クライアントの場合、ドキュメント、ウェブページ、カメラロールの画像のみを共有できます。

アプリケーションをプレゼンテーションする方法は、以下のとおりです。

1. プレゼンテーション・オプションのアイコン () をクリックし、プレゼンテーション・オプションのページを開きます。
2. [アプリケーション] をクリックします。
3. 共有するアプリケーションをリストから選択し、[プレゼンテーション] をクリックします。
4. アプリケーションの共有を停止するには、[プレゼンテーションの停止] をクリックします。

注： ハブに複数のディスプレイが接続されている場合、プレゼンテーションを表示するディスプレイの選択と設定は、プレゼンテーション・オプションのページの左下で行うことができます。青地に白のプラスアイコン () をクリックして、ハブに接続されているディスプレイのリストを開き、ディスプレイを選択します。

7.2.3 物理的な拡張ディスプレイのプレゼンテーション

参加者のシステムに複数の物理モニターが接続され、拡張ディスプレイとして構成されている場合、Intel Unite® アプリケーションでは、拡張ディスプレイを共有しつつ、第 1 ディスプレイを非公開にすることができます。

拡張ディスプレイのプレゼンテーションを行うには：

1. プレゼンテーション・オプションのアイコン () をクリックし、プレゼンテーション・オプションのページを開きます。
2. [画面] をクリックします。

3. [拡張ディスプレイ] を選択します。
4. [プレゼンテーション] をクリックします。
5. プレゼンテーションを停止するには、[**プレゼンテーションの停止**] をクリックします。

注： ハブに複数のディスプレイが接続されている場合、プレゼンテーションを表示するディスプレイの選択と設定は、プレゼンテーション・オプションのページの左下で行うことができます。青地に白のプラスアイコン () をクリックして、ハブに接続されているディスプレイのリストを開き、ディスプレイを選択します。

7.2.4 仮想拡張ディスプレイのプレゼンテーション

システムに接続されているディスプレイが 1 台のみの場合は、仮想拡張ディスプレイを作成するための追加オプションを利用できます。仮想拡張ディスプレイのプレゼンテーションする方法は、以下のとおりです。

1. プレゼンテーション・オプションのアイコン () をクリックし、プレゼンテーション・オプションのページを開きます。
2. [画面] をクリックします。
3. [仮想拡張画面] を選択します。
4. [プレゼンテーション] をクリックします。
5. プレゼンテーションを停止するには、[**プレゼンテーションの停止**] をクリックします。

注： ハブに複数のディスプレイが接続されている場合、プレゼンテーションを表示するディスプレイの選択と設定は、プレゼンテーション・オプションのページの左下で行うことができます。青地に白のプラスアイコン () をクリックして、ハブに接続されているディスプレイのリストを開き、ディスプレイを選択します。

7.2.5 プレゼンテーション枠の表示

プレゼンテーションを行っているユーザーの画面には黄色の枠が表示されるため、自分がプレゼンテーションを行っていることを確認できます。この機能は、**プロフィール設定**でオン / オフを切り替えることができます。

1. **設定アイコン** () をクリックします。
2. [**プロフィール**] をクリックします。
3. プレゼンテーション枠の表示をオンにするには、[**プレゼンテーション枠を表示**] チェックボックスをオンにします。
4. プレゼンテーション枠の表示をオフにするには、[**プレゼンテーション枠を表示**] チェックボックスをオフにします。
5. [**設定の保存**] をクリックし、新しい設定を適用します。

7.2.6 プレゼンテーションの引継ぎ

複数のユーザーがプレゼンテーションを行っているときに、1 人のユーザーがハブの画面を引継ぐことができます。プレゼンターが 1 人の場合、引継ぎ機能は使用できません。

プレゼンターが**引継ぎ**機能を使う方法は 2 つあります。

方法 1：

1. プレゼンテーション・オプションのアイコン () をクリックし、プレゼンテーション・オプションのページを開きます。
2. [**引継ぎ**] をクリックします。

方法 2：

1. プレゼンテーションを行っているときに、画面上部中央にあるプレゼンテーション・ツールバーの [**引継ぎ**] ボタンをクリックします。
2. [**引継ぎ**] ボタンがプレゼンテーション・ツールバーに表示されていない場合は、オプション追加表示アイコン () をクリックし、ドロップダウンメニューの [**引継ぎ**] をクリックします。

注： 引継ぐことで、ほかのプレゼンターがセッションから除外されることはありません。引継ぎは、ほかのプレ

ゼンターによるコンテンツの共有を停止するだけです。ほかの参加者は、いつでも共有を再開できます。

7.2.7 オーディオ付きビデオ再生のサポート

オーディオ付きビデオ再生機能によって、会議室内の参加者は、プレゼンテーション中にオーディオ付きの動画やビデオクリップを視聴することができます。

オーディオ付きビデオ再生機能は、**アプリケーションのプレゼンテーション**では使用できません。インテルでは、第3世代以降のインテル® Core™ プロセッサ・ファミリーで Windows* 7、8.1、10、Mac* OS (ドライバーをインストールする必要があります)、または Chrome* OS のいずれかを実行するシステムを、クライアント・デバイスの最低システム要件として推奨しています。

注： Linux* クライアントの場合、ビデオの再生のみがサポートされています。

IT 管理者によってオーディオ付きビデオ再生機能が有効化されている場合、[**プレゼンテーション**] ボタンをクリックした後に、スピーカーボタンが表示されます。スピーカーボタンをクリックすると、プレゼンターは自身が送信しているオーディオのミュートとミュート解除を切り替えることができます。この機能の使い方は、以下のとおりです。

1. **プレゼンテーション・オプション**のアイコン () をクリックします。
2. [**画面**] をクリックします。
3. 共有する画面を選択します。
4. [**プレゼンテーション**] をクリックします。これで、ステップ 3 で選択した画面から、音声付き動画を再生して共有することができます。
5. ミュートにするには、スピーカーボタン () をクリックします。アイコンがミュート・スピーカーボタン () に変わります。
6. ミュート・スピーカーボタン () をクリックすると、ミュートを解除できます。

7.3 表示機能

このセクションでは、表示機能について説明します。

7.3.1 表示ウィンドウのポップアウト

デフォルトでは、プレゼンテーションを表示しているとき、プレゼンテーションはクライアント・アプリケーションに埋め込まれています。この機能により、プレゼンテーションをウィンドウ内に表示でき、クライアント・アプリケーションを最小化することができます。以下の手順で、プレゼンテーションを別ウィンドウで表示することもできます。

1. プレゼンテーションを表示しているときに、ポップアウト・ボタン () をクリックし、プレゼンテーションのウィンドウをポップアウトします。
2. ほかのプレゼンテーションを選択して表示するには、画面下部の [**表示:**] の横にある他のプレゼンターのアバターをクリックします。
3. 表示を停止するには、画面下部中央の終了ボタン () をクリックします。
4. ポップアウト・ウィンドウを閉じるには、画面右上の [**X**] をクリックします。

7.3.2 プレゼンテーションの表示

参加者は、接続しているユーザーが共有するコンテンツを表示でき、プレゼンターが許可している場合 ([セクション 8.4.1](#) を参照) にはプレゼンテーションへの書き込み機能も使用できます。画面下部の [**表示:**] の右には、ハブに接続し、コンテンツをプレゼンテーションしているすべての参加者のリストが表示されます。接続している参加者がプレゼンテーションしているコンテンツを表示する方法は、以下のとおりです。

1. 画面下部にある、コンテンツをプレゼンテーションしている参加者のアバターをクリックします。

選択した参加者がプレゼンテーションしているコンテンツが表示されます。

表示コントロール・パネルでは、以下の機能を使用できます。

- (Mac*) プラスアイコン () をクリックすると、拡大できます。
 - (Mac*) マイナスアイコン () をクリックすると、縮小できます。
 - (Mac*) ズームのリセット ( **ズームのリセット**) をクリックすると、ズームをリセットできます。
 - [**ポップアウト**] ボタン () をクリックすると、ウィンドウをポップアウトできます。
 - [**全画面表示**] ボタン () をクリックすると、クライアント・アプリケーション・ウィンドウに表示領域を全画面表示することができます。
 - [**コントロール・パネル非表示**] の矢印ボタン () をクリックすると、表示コントロール・パネルが非表示になります。
 - [**コントロール・パネル表示**] の矢印ボタン () をクリックすると、表示コントロール・パネルが表示されます。
 - [**閉じる**] ボタン () をクリックすると、表示を停止できます。
2. プレゼンターが [**参加者の書き込み**] を [**オン**] にしている場合 (詳しくは、[セクション 7.4.1「書き込み](#)」を参照)、書き込みに使用する色を表示コントロール・パネルで選択できるようになります。マウスなどのポインティング・デバイスを使用している場合、色を選択し、クリック・アンド・ドラッグで書き込むことができます。タッチスクリーンを使用している場合、色をタッチし、ディスプレイをタッチ・アンド・ドラッグすると書き込むことができます。

複数のプレゼンターの中から表示するプレゼンテーションを選択して切り替えるには、参加者のアバターをクリックします。プレゼンテーションを行っている参加者は、画面下に表示されます。同時に**プレゼンテーションできるのは 4 人まで**です。ほかの参加者がメインスクリーンでプレゼンテーションするには、4 人のプレゼンターの内だれかがプレゼンテーションを停止しなければなりません。または、引継ぎ機能を使用する方法もあります。詳しくは、[セクション 8.2.6「プレゼンテーションの引継ぎ](#)」を参照してください。

7.4 コラボレーション機能

このセクションでは、コラボレーション機能について説明します。

7.4.1 書き込み

書き込み機能を使用すると、表示されている画面で、特定の項目やセクションを素早く強調表示し、参加者をそこに注目させることができます。デフォルトでは、書き込み後 5 秒を経過すると徐々に消えていきます。プレゼンテーション中に書き込み機能を使用する方法は、以下のとおりです。

1. コンテンツのプレゼンテーションを行います。
2. 画面上部にあるプレゼンテーション・コントロール・パネルの [**書き込み**] ボタン () をクリックします。アイコンが変わり、書き込みに使用する色が表示されます。
3. マウスなどのポインティング・デバイスを使用している場合、色を選択し、クリック・アンド・ドラッグで書き込むことができます。タッチスクリーンを使用している場合、色をタッチし、ディスプレイをタッチ・アンド・ドラッグすると書き込むことができます。

注： プレゼンテーション・コントロール・パネルが非表示になっている場合は、矢印 () をクリックすると表示できます。

書き込みコントロール・パネルは、書き込みアイコンの横にある下向きの矢印アイコン () をクリックすると表示されます。書き込みコントロール・パネルで使用できる機能は、以下のとおりです。

- 色 (赤、オレンジ、黄色 (デフォルト)、緑、青、紫、黒) – ディスプレイへの書き込みに使用する色を指定します。
- 書き込みをフェード (オン (デフォルト)、オフ) – [オン] に設定すると、書き込み後 5 秒を経過すると徐々に消えていきます。[オフ] に設定すると、書き込みは消えず、ディスプレイ上に残ります。
- [参加者の書き込み (オン (デフォルト)、オフ) – [オン] に設定すると、視聴者がディスプレイに書き込むことができます。[オフ] に設定すると、視聴者はディスプレイに書き込めません。
- 書き込みをクリア – [クリア] をクリックすると、書き込みを消去できます。

7.4.2 ファイルの共有

ファイル共有オプションを使用するには、IT 管理者が管理者ポータル内で有効化する必要があります。ファイルの共有機能を使用すると、プレゼンテーション、会議の議事録、画像、その他のファイルを、同じハブに接続しているほかの参加者と簡単に共有することができます。

ファイルの送信

Intel Unite® アプリケーションを使用してファイルを送信する方法は、以下のとおりです。

1. 機能 / アプリエリアの [ファイルの共有] アイコン () をクリックします。
2. [共有するファイル] タブをクリックします。
3. 「ファイルをここにドラッグ・アンド・ドロップするか、[参照] ボタンを使用してください」と表示されているボックスに、ファイルをドラッグします。最大転送サイズは、IT 管理者によって設定されます。
4. ファイルの送信準備が整ったら、[受信者の選択] のリストから参加者を選択します。
5. [送信] をクリックします。ファイルが正しく共有されたことを示すメッセージが表示されます。

ファイルの受信

受信者には、[ファイルの共有] アイコンに、ファイルが待機中であることを示すインジケータが表示されます。ファイルを受信する方法は、以下のとおりです。

1. 左側にある [ファイルの共有] アイコン () をクリックします。
2. [自分と共有されているファイル] をクリックします。
3. ファイルの横にある [ダウンロード] ボタンをクリックします。[ファイルのダウンロード] ポップアップ・メニューに、[開く]、[保存]、[キャンセル] のオプションが表示されます。[開く] をクリックすると、ファイルを一時的な保存場所にダウンロードし、自動で開くことができます。[保存] をクリックすると、保存場所を指定して、ファイルをダウンロードできます。[キャンセル] をクリックすると、ダウンロードをキャンセルできます。
4. ダウンロードした後、ファイルをリストから削除するには、ファイル名の横にある削除ボタン () をクリックします。

7.5 セッション管理機能

このセクションでは、セッション管理機能について説明します。

7.5.1 接続状態インジケータ

接続状態インジケータ () は、ハブとクライアント・デバイス間の接続の信頼性を示します。接続の信頼性が低下すると、アイコンがオレンジになり、その後赤に変わります。

7.5.2 ハブからの切断

ハブから切断するには、メイン画面上部の [切断] ボタンをクリックします。注：iOS* プラットフォームの場合、[切断] ボタンを表示するには、接続状態インジケータ () をクリックします。

7.5.2.1 自動切断

Intel Unite® クライアントは、以下のアクションが発生した場合に、自動でハブから切断されます。

- クライアントの蓋が閉じられた
- クライアントがスリープモードになった
- クライアントがシャットダウンした
- クライアントが再起動した
- クライアントがハブとのネットワーク接続を失った

7.5.3 ほかのユーザーの切断

セッションに接続しているすべてのユーザーは、参加者のリストを確認し、ほかの参加者を切断することができます。参加者を確認し、切断する方法は、以下のとおりです。

1. セッションの参加者を確認するには、[参加者] アイコン () をクリックします。
2. 参加者を切断するには、リストから参加者を選択し、[切断] をクリックします。
3. すべてのユーザーを切断し、会議やセッションを終了するには、[セッションの終了] をクリックします。

7.5.4 会議やセッションの終了

会議やセッションを終了する方法は、以下のとおりです。

1. [参加者] アイコン () をクリックし、セッションの参加者を表示します。
2. [セッションの終了] ボタンを押します。

注： モデレートセッションは、モデレーターが終了できます。モデレートセッションでない会議は、どのユーザーでも終了できます。

7.5.5 デバイスからのホスト

[使用中のデバイスからホスト] 機能は、ピアツーピアのコラボレーション・ツールです。会議室やセッションルームを使用できない場合や、参加者がコンテンツを表示する画面を使用できない場合でも、この機能を使って会議を行うことができます。ピアツーピア・セッションは、参加者が Intel® vPro™ テクノロジー搭載 Windows* クライアント・デバイスからホストすることができます。

1. [PIN の入力] ページ (ハブに接続されていない状態) で、[セッションをホスト] をクリックします。
2. ほかのユーザーがピアツーピア・セッションに参加できるよう、ホストはほかのユーザーに PIN を伝えます。
3. ユーザーが参加しようとする、[接続の同意] ウィンドウが表示されます。
4. [承認] をクリックすると、ホストされたセッションが開始されます。ユーザーが参加するたびにメッセージが表示されないようにするには、[今後の接続を常に自動的に受け入れる] チェックボックスにチェックを入れます。

注： セッションをホストしているクライアント PC に参加者が接続できない場合、ホスト参加者はファイアウォール設定で Intel Unite® アプリを有効にする必要があります。ホスト参加者側の IT 部門に問い合わせ、ファイアウォール設定を確認してください。

7.5.6 会議のロック

会議のロック機能を使えば、参加者は、ほかの Intel Unite® アプリケーション・ユーザーがセッションに参加したり共有コンテンツを閲覧したりできないよう、セッションをロックすることができます。セッションがロックされると、ほかの Intel Unite® アプリケーション・ユーザーは接続できなくなります。

会議やセッションをロックする方法は、以下のとおりです。

1. [参加者] アイコン () をクリックし、セッションに参加している参加者のリストを表示します。

2. セッションをロックしてよい場合は、[セッションのロック] スイッチをオン () に切り替えます。セッションのロックを解除するには、スイッチをオフ () に切り替えます。セッションのロックとロック解除は、リストに表示されているすべての参加者が、セッション中いつでも行うことができます。

セッションがロックされると、ハブに接続されているディスプレイでは、PIN の横にロックアイコン () が表示され、セッションがロックされたことを示すトースト通知が数秒間表示されます。ロックされたセッションに接続しようとしたユーザーには、セッションがロックされていることを示すメッセージが表示されます。このメッセージには、セッションをリセットするオプションがあります。

ロックされたセッションのリセットが選択されると、すべての参加者が切断され、セッションをリセットしたユーザーは [リセットの確認] を承認すると接続されます。ロックされたセッションに接続していたすべての参加者には、ほかのユーザーがセッションをリセットしたことを示すメッセージが表示されます。参加者のプレゼンテーション中にセッションのロックが解除されると、コンテンツの共有が停止され、再度共有されるまで Intel Unite® アプリケーションのユーザーはそのコンテンツを見ることができなくなります。

7.5.7 モデレートセッション

モデレート機能を使えば、参加者は、機能を以下の 3 つの役割に分担して、会議やセッションをコントロールすることができます。

- **モデレーター** – モデレーターは、セッションを完全にコントロールし、ほかの参加者をプレゼンターやもう一人のモデレーターとして指名することができます。
- **プレゼンター** – プレゼンターは、ファイルのプレゼンテーション、表示、書き込み、共有ができます。
- **視聴者** – 視聴者は、ファイルの表示、書き込み、共有をすることはできますが、プレゼンテーションをすることはできません。

IT 管理者は、会議やセッションを実行しているハブでこの機能を有効にする必要があります。IT 部門では、この機能を有効または無効にするために、3 つのモデレーター・モードを使用できます。3 つのモードは、以下のとおりです。

- **(0) モデレーションなし** – 組織がモデレーターの役割を有効にしていません。
- **(1) 自己昇格** – だれかが自分自身をモデレーターに昇格させるまでは、会議やセッションが管理されません。このモードでは、ほかの参加者にモデレーターまたはプレゼンターを割り当てられるのはモデレーターだけです。残りの参加者は、モデレーターが各自の役割を変更するまで視聴者になります。
- **(2) 厳密** – モデレーターのみが会議やセッションを管理します。モデレーターによってプレゼンターに指名されない限り、モデレーターでないすべての参加者には [プレゼンテーション] ボックスが表示されません。参加者のメールアドレスが IT 管理者によってモデレーターとして登録されている場合、その参加者はモデレーター・モードをリクエストできます。

7.5.7.1 自己昇格モードの使用

自己昇格モードの使用方法は、以下のとおりです。

1. [参加者] アイコン () をクリックし、セッションに参加している参加者のリストを表示します。
2. 参加者は、[モデレーターになる] をクリックし、モデレーターの役割をリクエストできます。参加者がモデレーターになると、残りの参加者は視聴者になります。
3. モデレーターは、ほかの人を**モデレーター**または**プレゼンター**に指名でき、参加者の接続を**切断**することもできます。モデレーターが特定の参加者に役割を割り当てると、参加者のリストが更新されます。
 - モデレーターによって特定の役割に割り当てられた参加者には、役割が割り当てられたことを示すメッセージが表示されます。メッセージは、当該参加者の [プレゼンテーション準備完了] ウィンドウに数秒間表示されます。
 - **視聴者の画面では、プレゼンテーション・ボタンがグレー表示され、プレゼンテーション・オプション・ボタン () は機能しません。**

- モデレーターは、参加者をセッションから切断することもできます。切断された参加者には、セッションから切断または除外されたことを示すメッセージが表示されます。

注：モデレーターのホワイトリストに含まれている参加者であっても、自己昇格の会議に参加しただけではモデレーターの役割は自動的に付与されません。モデレーターになるには、参加者が [**モデレーターになる**] ボタンをクリックする必要があります。

7.5.7.2 厳密モードの使用

厳密モードの使用方法は、以下のとおりです。

1. [**参加者**] アイコン () をクリックし、セッションに参加している参加者のリストを表示します。
2. IT 管理者がハブに厳密モードを設定している場合、モデレーターの役割に割り当てられている参加者のみが会議またはセッションを管理できます。モデレーターによってプレゼンターに指名されない限り、モデレーターでないすべての参加者には [**プレゼンテーション**] ボックスが表示されません。
3. モデレーターの役割をリクエストするには、[**モデレーターになる**] ボタンをクリックします。[**モデレーターになる**] ボタンをクリックすると、参加者をモデレーターのホワイトリストに追加し、その参加者に厳密モードの会議のモデレーターの役割を付与するためのリクエストが作成されます。

7.5.7.3 セッションの権限の設定

セッションの参加者の権限を設定できるのは、モデレーターのみです。視聴者をプレゼンターまたはモデレーターに設定する方法は、以下のとおりです。

1. [**参加者**] アイコン () をクリックし、セッションに参加している参加者のリストを表示します。
2. 役割がゲストのユーザーのオプションアイコン () をクリックします。
3. ユーザー権限を設定します。
 - [**プレゼンター**] を選択すると、プレゼンター権限を割り当てることができます。
 - [**モデレーター**] を選択すると、モデレーター権限を割り当てることができます。

7.5.8 会議のスケジュール

会議のスケジュール機能を使えば、Microsoft* Outlook* ユーザーは、Intel Unite® ソリューションを使って会議やセッションをスケジュールし、出席者に簡単にリンクを送信することができます。1 人目の会議出席者が会議にハブを追加すると、参加者は PIN を入力せずにスケジュール済みの会議に接続できます。

会議やセッションをスケジュールするには、デバイス (Windows* クライアント・デバイス) に **Microsoft* Outlook* 用 Intel Unite® プラグイン** がインストールされている必要があります。インストール方法と使用方法については、「付録 A : Intel Unite® ソリューション向け Microsoft* Outlook* アドイン」を参照してください。

- 会議やセッションに参加するには、会議への招待を開き、[**Intel Unite® に参加**] リンクをクリックします。この操作で仮想会議室にアクセスすることができます。すでにほかの参加者が会議室のディスプレイをセッションに追加している場合、自動でセッションに参加できます。
- セッションを行う会議室、教室、研修室などにいる場合は、[**会議室ソリューションからホスト**] ウィンドウで青いプラスアイコンをクリックし、ハブ・ディスプレイから PIN を入力すると、会議室のディスプレイをセッションに追加できます。会議室が追加されると、仮想会議室の全員がセッションに参加できます。会議を開始するには、参加者のうちの 1 人だけが会議室のディスプレイを追加する必要があります。

注： 会議のスケジュール機能は、管理者ポータルでも使用できます。詳しくは、導入ガイドの管理者ポータルに関するセクションをご覧ください。

7.6 アプリと機能

このセクションでは、アプリの実行方法について説明します。

7.6.1 Intel Unite® ソリューション・アプリの実行

使用できる Intel Unite® ソリューション・アプリは、画面左側の [参加者] アイコンの下にあるパネルに表示されます。アプリを実行するには、アプリのアイコンをクリックします。各アプリの詳細は、アプリのユーザーガイド (Scratchpad* ユーザーガイド、Skype* for Business ユーザーガイドなど) をご覧ください。パネルが非表示になっている場合は、**パネル表示**の矢印ボタン () をクリックし、パネルを表示します。

7.7 その他

このセクションでは、その他の機能について説明します。

7.7.1 自動更新

Windows* クライアントでは、IT 管理者がクライアント・アプリケーション、アプリ、機能を自動でアップデートできます。クライアントがサーバーに接続したときに、クライアントやアプリを最新バージョンへアップデートすることを推奨するよう、サーバーを設定できます。これによって、クライアントのバージョンや機能を常に最新状態にすることができます。自動更新は、管理者ポータルから無効にすることができます。

自動更新の無効化、パッケージの作成、および構成の適用方法については、「*Intel Unite® ソリューション 4.0 導入ガイド*」を参照してください。

7.7.2 フル・アクセシビリティ

クライアント・アプリケーションはアクセシビリティを考慮して設計されているので、より多くのユーザーに Intel Unite® ソリューションをお使いいただけます。

7.7.3 リアルタイムのプロファイル更新

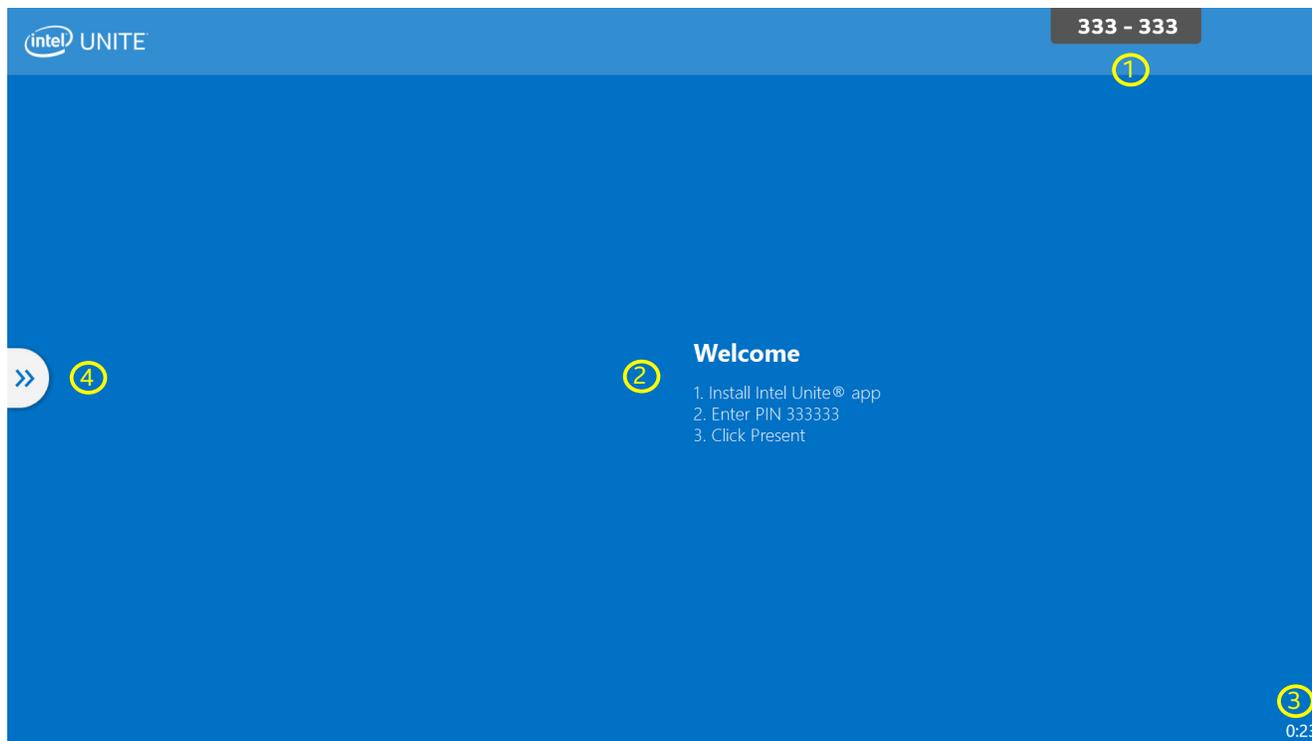
クライアント設定のプロファイル・ページで行った変更は、[設定を保存] ボタンをクリックすると反映されます。クライアント・アプリケーションを再起動する必要はありません。

8 ハブの UI の概要

8.1 ハブのメイン画面

図 27 は、ハブに表示されるメイン画面を示しています。

図 27. ハブのメイン画面

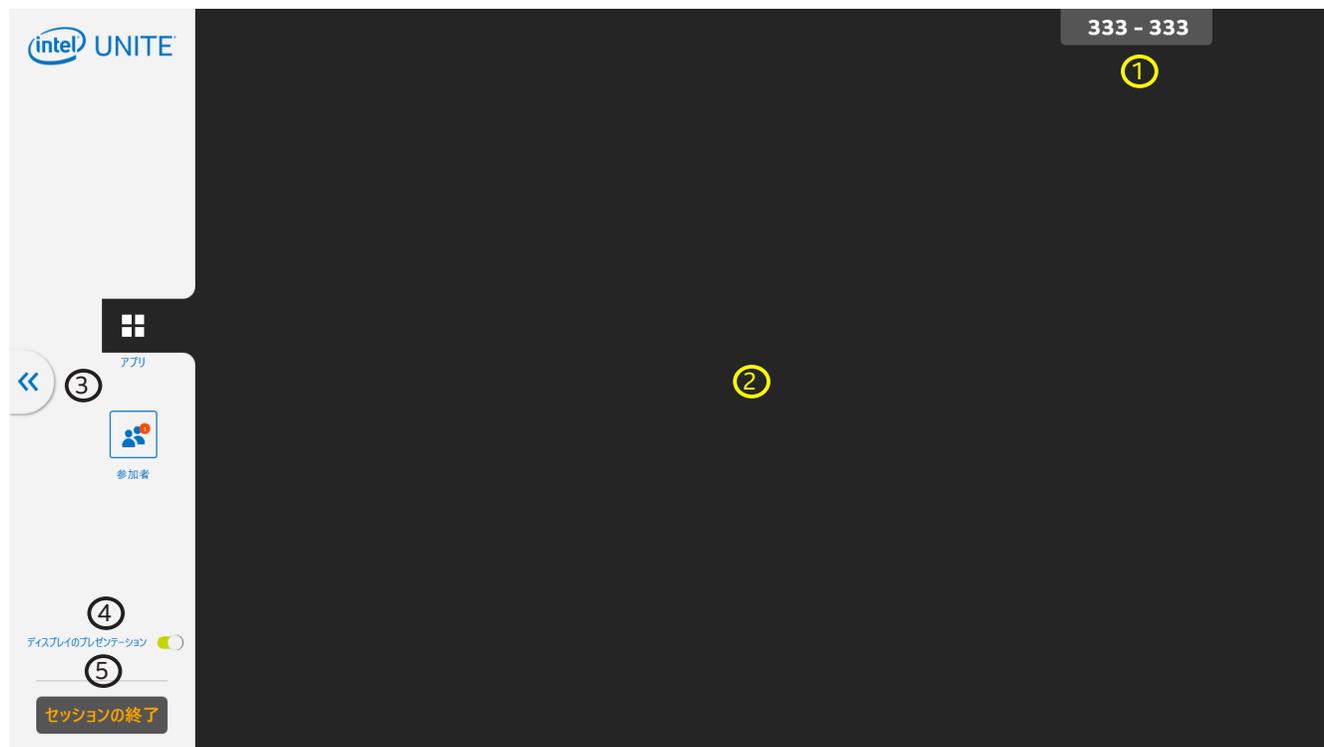


1. **PIN** – クライアントで入力する番号です。
2. **手順** – この手順は、IT 管理者がカスタマイズできます。
3. **時計** – 現在時刻です。IT 管理者が非表示にできます。
4. **オプションの表示** – クリックすると、オプションを追加表示できます。この機能は IT 管理者が無効にすることができます。

8.2 ハブのアプリ画面

図 28 は、ハブで使用できるアプリが表示されるアプリ画面を示しています。

図 28. ハブのアプリ画面

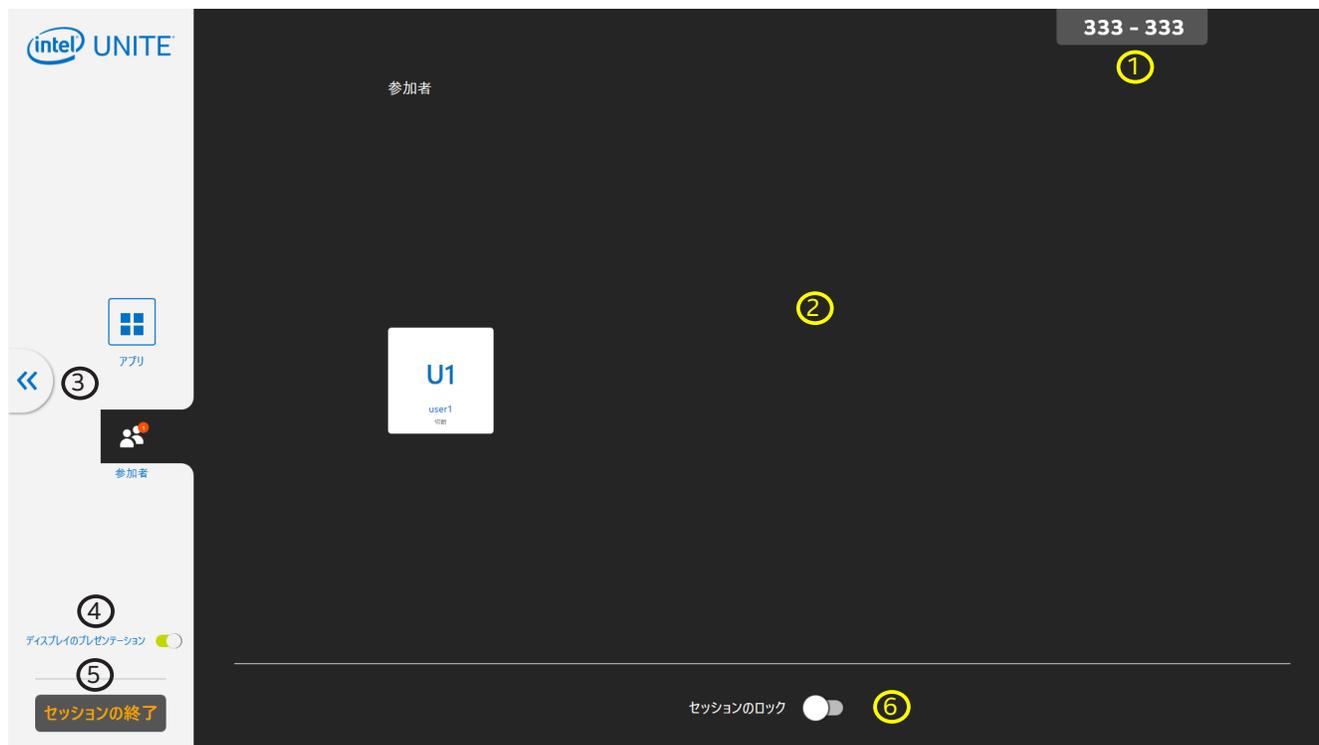


1. **PIN** – クライアントで入力する番号です。
2. **アプリエリア** – 使用できるアプリが表示されます。
3. **オプションの非表示** – クリックすると、メイン画面に戻ります。
4. **[ディスプレイのプレゼンテーション]** – ハブからのプレゼンテーションのオン / オフを切り替えられます。
5. **[セッションの終了] ボタン** – クリックすると、セッションを終了し、すべてのユーザーを切断できます。

8.3 ハブの参加者画面

図 29 は、接続したすべてのユーザーが表示される参加者画面を示しています。

図 29. ハブの参加者画面



1. **PIN** – クライアントで入力する番号です。
2. **ユーザーエリア** – 接続しているユーザーが表示されます。
3. **オプションの非表示** – クリックすると、メイン画面に戻ります。
4. **[ディスプレイのプレゼンテーション]** – ハブ・ディスプレイのリモート・プレゼンテーションの有効 / 無効を切り替えます。
5. **[セッションの終了] ボタン** – クリックすると、セッションを終了し、すべてのユーザーを切断できます。
6. **[セッションのロック]** – セッションのロックとロック解除を切り替えられます。

8.4 ハブ表示コントロール・パネル

これはハブ表示のコントロール・パネルで、タッチ対応ディスプレイまたはマウスに接続されているハブで、書き込み、オーディオのミュート / ミュート解除、全画面表示、または画面コントロール機能を使用できます。表示コントロール・パネルを開くには、プレゼンテーション中に中央の下にある上向き矢印アイコン () をタッチまたはクリックします。

図 30. ハブ表示コントロール・パネル



1. **書き込みの色** – 書き込みの色を選択します。
2. **【書き込みをフェード】** – スイッチが緑色になっているときは、フェードが有効になっています。スイッチがグレーになっているときは、フェードが無効になっています。フェードが有効になっている場合、数秒後に書き込みが徐々に消えていきます。
3. **【画面コントロール】** – 画面コントロール機能を有効または無効にし、プレゼンテーションしているクライアントをコントロールします。このアイコンは、クライアントが画面コントロールを許可されているときに、タッチ対応ディスプレイにのみ表示されます。
4. **ミュート / ミュート解除** – オーディオのミュートとミュート解除を切り替えます。
5. **【全画面】** – 複数のプレゼンターがディスプレイにプレゼンテーションを行っている場合は、クリックまたはタッチすると、選択したプレゼンテーションがディスプレイを引継ぎ、ほかのプレゼンテーションが停止します。
6. **コントロール・パネルの表示 / 非表示** – クリックまたはタッチして、コントロール・パネルを非表示にします。

9 ハブ機能

ハブに入力デバイス (タッチスクリーンやマウスなど) を接続すれば、ハブ機能を使用できます。

9.1 ハブ機能リスト

ハブ機能は以下のとおりです。

- 書き込み
- アプリの表示と実行
- 接続しているクライアントの表示
- セッションの終了
- ハブによるプレゼンテーション
- セッションのロックとロック解除
- 全画面を使用して引継ぐ
- 画面コントロール *

* 画面コントロールは Windows* 10 クライアントでのみ使用できます。

9.1.1 書き込み

書き込みオプションは、ハブからプレゼンテーションを行っている場合、またはプレゼンターが [参加者の書き込み] を [オン] にしている場合に使用できます。

この機能の使用手順は、以下のとおりです。

1. 画面下部中央にあるプレゼンテーション・パネル表示アイコン () をクリックします。
2. 色を選択します。
3. タッチ・アンド・ドラッグまたはクリック・アンド・ドラッグで書き込みます。
4. デフォルトでは、[書き込みをフェード] が [オン] になっており、書き込み後数秒を経過すると徐々に消えていきます。これを [オフ] にすると、書き込みは消えません。

9.1.2 アプリの表示と実行

ハブで使用できるアプリの確認と実行は、以下の手順で行います。

1. [オプションの表示] の矢印アイコン () をクリックし、サイドパネルを表示します。
2. [アプリ] アイコン () をクリックし、ハブで使用できるアプリを表示します。
3. アプリのアイコンをクリックし、起動します。

各アプリの詳細は、アプリのユーザーガイド (Scratchpad* ユーザーガイド、Skype for Business* ユーザーガイドなど) をご覧ください。

9.1.3 接続しているクライアントの表示

ハブに接続しているクライアントを確認するには、次の手順で行ってください。

1. [オプションの表示] の矢印アイコン () をクリックし、サイドパネルを表示します。
2. [参加者] アイコン () をクリックし、ハブに接続しているクライアントを表示します。

9.1.4 セッションの終了

セッションを終了すると、すべての参加者がハブから切断されます。ハブからセッションを終了する手順は、以下のとおりです。

1. [オプションの表示]の矢印アイコン()をクリックし、サイドパネルを表示します。
2. [セッションの終了]をクリックします。

9.1.5 ハブによるプレゼンテーション

ハブによるプレゼンテーション機能を使えば、ハブからプレゼンテーションを行うことができます。IT 管理者が、ハブでこの機能を有効にしなければなりません。ハブによるプレゼンテーションを行うには、次の手順で行ってください。

1. [オプションの表示]の矢印アイコン()をクリックし、サイドパネルを表示します。
2. [ディスプレイのプレゼンテーション]スイッチをオン()にします。
3. プレゼンテーションを停止するには、[オプションの表示]の矢印アイコン()をクリックします。
4. [ディスプレイのプレゼンテーション]スイッチをオフ()にします。

9.1.6 セッションのロックとロック解除

ロックされたセッションには、新たな参加者が加わることはできません。ハブからセッションをロックまたはロック解除する手順は、以下のとおりです。

1. 接続しているクライアントを表示します。
2. セッションをロックするには、[セッションのロック]スイッチをオン()に切り替えます。
3. セッションをロック解除するには、[セッションのロック]スイッチをオフ()に切り替えます。

9.1.7 引継ぎ

引継ぎ機能を使えば、1つのディスプレイに向けて複数のプレゼンテーションが行われている場合に、そのうち1つのプレゼンテーションを全画面表示することができます。

引継ぎ機能の使用方法は、以下のとおりです。

1. 複数のプレゼンターが1つのディスプレイに向けてプレゼンテーションを行っているときに、全画面表示するプレゼンテーションを選択します。
2. 画面下部中央にあるプレゼンテーション・パネル表示アイコン()をクリックします。
3. [全画面表示]をクリックします。

9.1.8 画面コントロール

画面コントロール機能を使えば、ハブからのタッチやマウス操作で、プレゼンテーションしているクライアントをコントロールできます。

注： 画面コントロールをオンにすると、ハブの仮想キーボードは機能しなくなります。ハブの仮想キーボードを使用するには、[画面コントロール]をオフにしてください。

画面コントロール機能を使用する手順は、以下のとおりです。

1. 画面下部中央にあるプレゼンテーション・パネル表示アイコン()をタップまたはクリックします。
2. 画面コントロールを有効にするには、[画面コントロール]アイコン()をタップまたはクリックします。
3. タッチまたはマウス操作によって、クライアント・デバイスでプレゼンテーションされているコンテンツをコントロールします。

付録 A : Intel Unite® ソリューション向け Microsoft* Outlook* アドイン

Intel Unite® ソリューション向け Microsoft* Outlook* アドインのインストール方法は、以下のとおりです。

1. ファイル **Intel Unite Add-in for Microsoft Outlook.msi** を実行します。
2. インストールを完了します。
3. Outlook* を開きます。
4. [ホーム] タブのリボンで、**Intel Unite® アプリケーションの会議の作成**をクリックします。会議のスケジュール機能を使用して作成した会議は、図 31 のように表示されます。

図 31.Outlook* 会議



付録 B : クライアント・ショートカット・キー

このセクションの表には、Intel Unite® クライアントの各種機能に割り当てられているショートカット・キーを掲載しています。

PIN 機能のショートカット・キー

PIN 画面の機能	Windows*	Mac*	iOS*	Android*	Chrome*	Linux*
PIN の入力	0 ~ 9	0 ~ 9	0 ~ 9	0 ~ 9	0 ~ 9	0 ~ 9
末尾の値の削除	バックスペース	バックスペース	バックスペース	バックスペース	バックスペース	バックスペース
PIN のクリア	ESC	CMD + Delete	CMD + Delete	ESC	ESC	ESC
PIN の貼り付け	CTRL + V	CMD + V	CMD + V	CTRL + V	CTRL + V	CTRL + V

メイン画面の機能のショートカット・キー

メイン画面の機能	Windows*	Mac*	iOS*	Android*	Chrome*	Linux*
参加者	CTRL + P	CMD + P	CMD + P	CTRL + P	CTRL + P	CTRL + P
画面 -> 画面 1-> プレゼンテーション	CTRL + 1	CMD + 1	CMD + 1	CTRL + 1	CTRL + 1	CTRL + 1
画面 -> 画面 1-> 詳細	CTRL + 2	CMD + 2	CMD + 2	CTRL + 2	CTRL + 2	CTRL + 2
切断	CTRL + E	CMD + E	CMD + E	CTRL + E	CTRL + E	CTRL + E
セッションのロック	OS 修飾キー + L	CMD + L	CMD + L	OS 修飾キー + L	OS 修飾キー + L	OS 修飾キー + L
参加者の表示 (拡大)	CTRL + Shift + 数字 (1 ~ 8)	CMD + Shift + 数字 (1 ~ 8)	使用不可	CTRL + Shift + 数字 (1 ~ 8)	CTRL + Shift + 数字 (1 ~ 8)	CTRL + Shift + 数字 (1 ~ 8)

プレゼンテーション機能のショートカット・キー

プレゼンテーション機能	Windows*	Mac*	iOS*	Android*	Chrome*	Linux*
書き込み	CTRL + N	CMD + N	CMD + N	CTRL + N	CTRL + N	CTRL + N
書き込みの無効化	CTRL + O	CMD + O	CMD + O	CTRL + O	CTRL + O	CTRL + O
WebRTC のミュート	CTRL + T	CMD + T	使用不可	CTRL + T	CTRL + T	CTRL + T

表示機能のショートカット・キー

表示機能	Windows*	Mac*	iOS*	Android*	Chrome*	Linux*
書き込み	CTRL + N (可能な場合はその他キー)	CMD + Shift + N	CMD + Shift + N	CTRL + N (可能な場合はその他キー)	CTRL + N (可能な場合はその他キー)	CTRL + N (可能な場合はその他キー)

その他の機能のショートカット・キー

その他の機能	Windows*	Mac*	iOS*	Android*	Chrome*	Linux*
セッションをホスト	CTRL + H	CMD + H	使用不可	CTRL + H	CTRL + H	CTRL + H
環境設定	CTRL + Y + S	CMD + ,	CMD + ,	CTRL + Y + S	CTRL + Y + S	CTRL + Y + S